

関係資料

《廃棄物の発生・処理状況、社会の状況》

- 1 一般廃棄物（ごみ）
 - ・（１）～（９）：現計画の目標達成状況について 関係資料・・・・・・・・・・ 2 4
 - ・（10）～（11）：次期計画の目標の考え方について 関係資料・・・・・・・・・・ 2 7
 - ・（12）～（13）：新たな指標の考え方について 関係資料・・・・・・・・・・ 2 9
 - ・（14）～（32）：循環型社会の構築に向けた現状と課題及び施策の基本方針 関係資料・・ 3 1

- 2 一般廃棄物（し尿）
 - ・（１）～（４）：発生・処理状況について 関係資料・・・・・・・・・・ 4 7

- 3 産業廃棄物
 - ・（１）～（９）：現計画の目標達成状況について 関係資料・・・・・・・・・・ 4 9
 - ・（10）：次期計画の目標の考え方について 関係資料・・・・・・・・・・ 5 3
 - ・（11）～（12）：新たな指標の考え方について 関係資料・・・・・・・・・・ 5 5
 - ・（13）～（16）：循環型社会の構築に向けた現状と課題及び施策の基本方針 関係資料・・ 5 5

《将来推計の概要》

- 1 一般廃棄物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 8
- 2 産業廃棄物・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 1

《環境審議会関係》

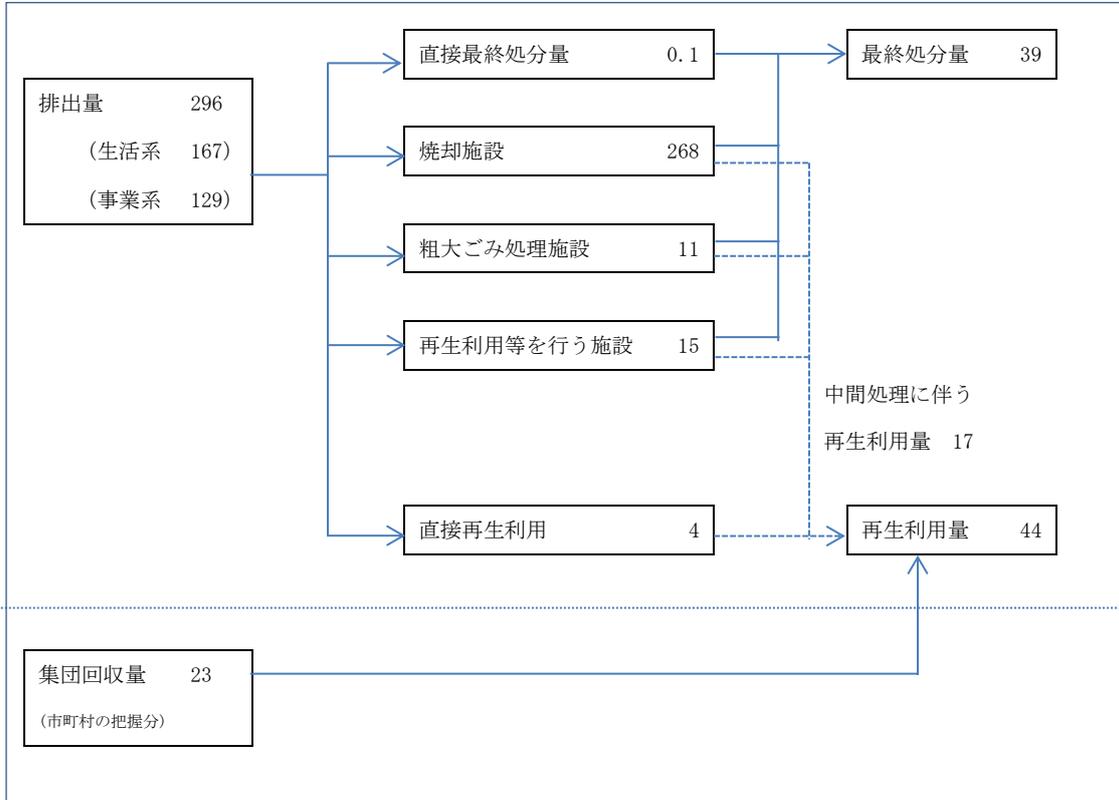
- 1 大阪府環境審議会循環型社会推進計画部会委員名簿・・・・・・・・・・ 6 3
- 2 審議経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 4

《廃棄物の発生・処理状況、社会の状況》

1 一般廃棄物（ごみ）

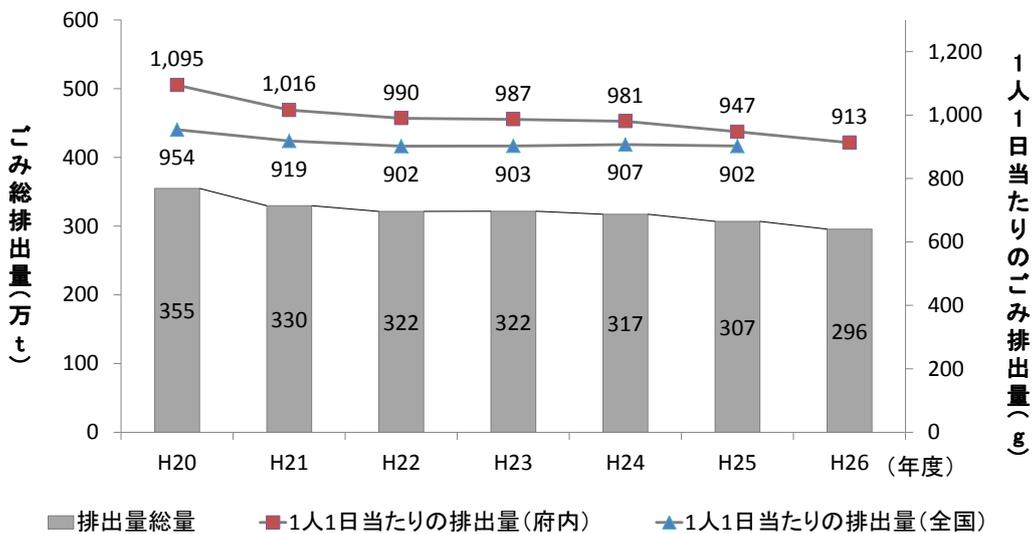
(1) ごみ処理の状況（平成 26 年度実績）

(単位：万トン)

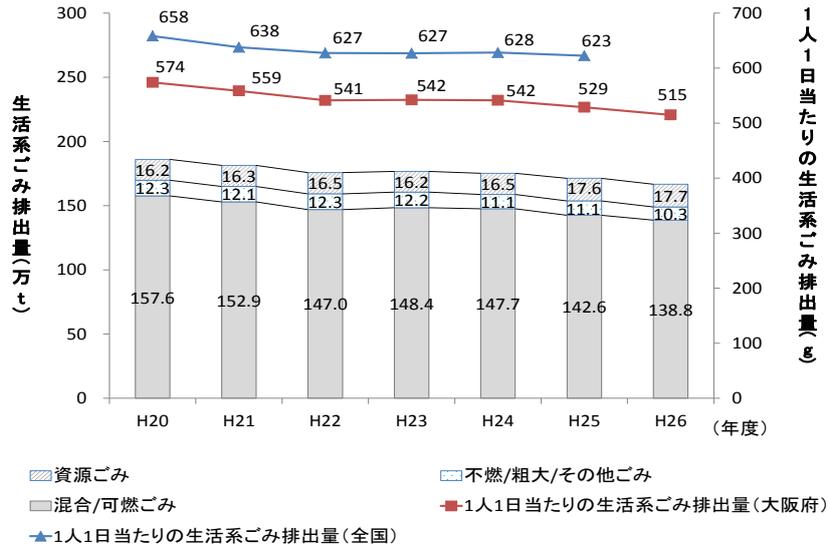


市町村が関与しない資源化物

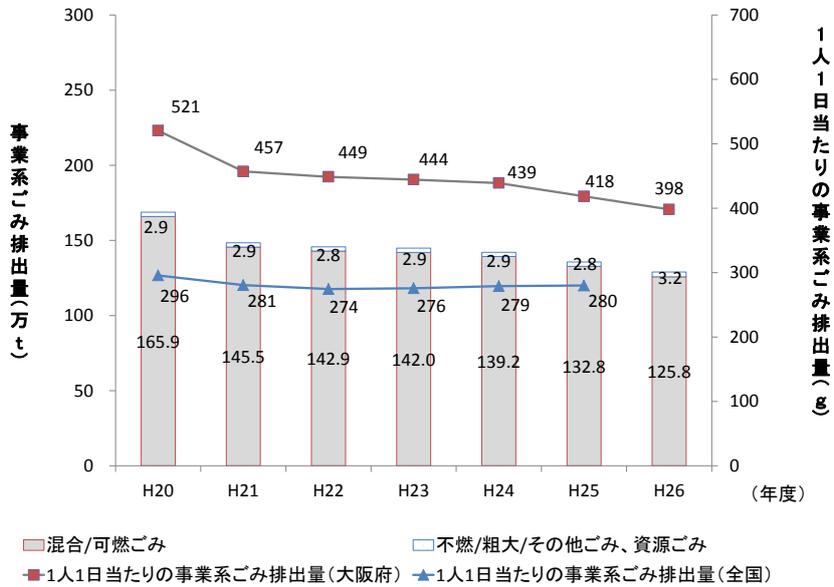
(2) ごみ総排出量の推移



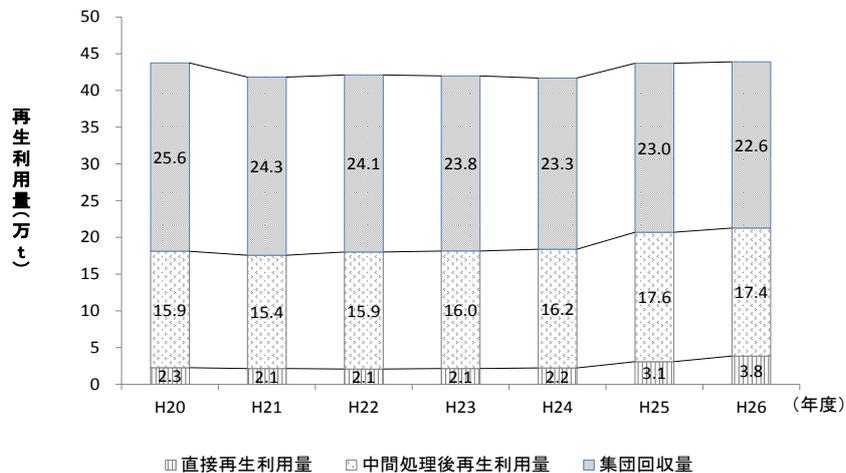
(3) 生活系ごみ排出量の推移



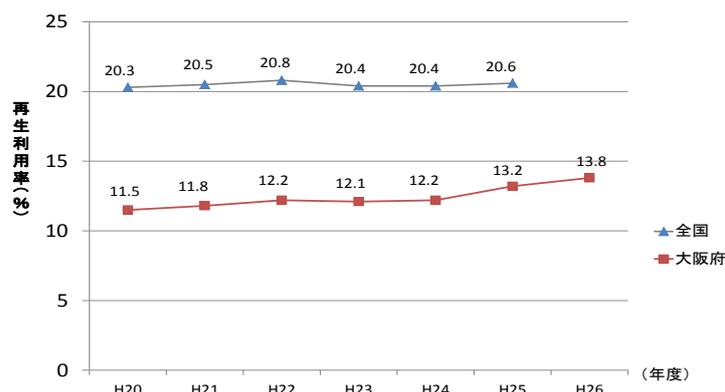
(4) 事業系ごみ排出量の推移



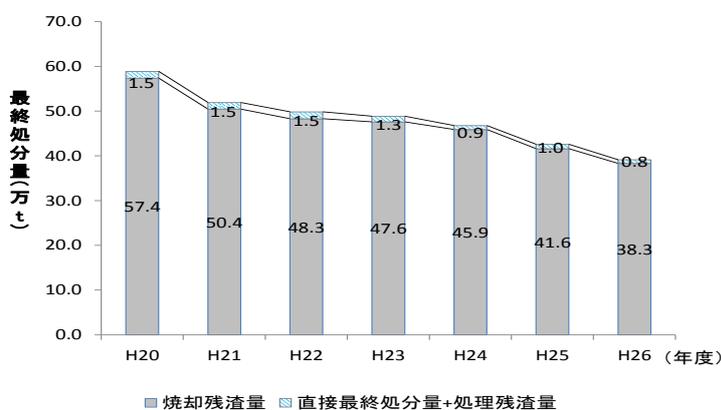
(5) 再生利用量の推移



(6) 再生利用率の推移



(7) 最終処分量の推移



(8) 容器包装廃棄物の主要品目別再生利用量の推移

(単位: トン)

品目	H22	H23	H24	H25	H26
プラスチック製容器包装	49,495	47,914	51,369	51,030	54,336
鋼製容器包装	14,474	13,119	12,136	11,412	12,196
アルミニウム製容器包装	4,467	3,806	3,697	4,087	4,370
段ボール	34,182	34,259	31,027	30,344	32,257
容器包装廃棄物 (全品目合計)	158,077	155,768	157,396	156,008	166,921

(9) 集団回収量の推移

(単位: トン)

品目	H22	H23	H24	H25	H26
紙類	222,012	217,696	212,615	208,373	203,309
紙パック	552	542	441	437	486
紙製容器包装	5,588	6,084	6,451	7,238	8,672
金属類	2,091	2,183	2,238	2,345	2,441
ガラス類	62	54	74	76	64
布類	10,596	11,608	10,991	11,449	11,190
集団回収量 (全品目合計)	241,156	238,429	233,077	230,022	226,315

(10) 都道府県における一般廃棄物の目標に関する状況（平成25年度実績）

◎生活系ごみ+事業系ごみ、○：生活系ごみ

国の基本方針に示された一般廃棄物の目標		◎再生利用率		◎最終処分量		国の基本方針に新たに追加された一般廃棄物の目標	
◎1人1日当たりのごみ排出量 (集団回収量を含む)		◎再生利用率		◎最終処分量		○1人1日当たりの生活系ごみ排出量 (資源ごみ排出量・集団回収量を除く)	
都道府県	g/人・日	都道府県	%	都道府県	トン	都道府県	g/人・日
沖縄県	829	三重県	30.1	高知県	11,916	長野県	418
長野県	847	山口県	29.5	佐賀県	17,120	京都府	454
熊本県	848	岡山県	27.1	鳥取県	18,416	広島県	457
滋賀県	880	鳥取県	26.1	島根県	21,459	熊本県	466
佐賀県	884	神奈川県	25.3	沖縄県	26,242	沖縄県	471
香川県	895	島根県	25.0	福井県	28,944	香川県	473
広島県	902	埼玉県	24.9	山梨県	31,027	大阪府	475
神奈川県	906	長野県	24.7	徳島県	33,468	鳥取県	478
埼玉県	908	北海道	24.0	大分県	35,874	神奈川県	479
愛媛県	911	千葉県	23.5	香川県	35,927	北海道	484
静岡県	917	東京都	23.2	富山県	37,222	新潟県	497
奈良県	918	新潟県	23.2	秋田県	38,266	岩手県	504
京都府	919	愛知県	22.7	岡山県	42,162	滋賀県	506
山形県	921	高知県	22.4	山形県	45,104	宮崎県	516
岐阜県	928	富山県	22.2	山口県	46,233	兵庫県	517
鹿児島県	936	広島県	22.1	長崎県	47,995	岡山県	520
栃木県	940	茨城県	22.0	三重県	50,038	山形県	523
愛知県	940	福岡県	21.3	滋賀県	50,061	大分県	531
高知県	943	静岡県	21.0	岩手県	50,415	奈良県	532
岩手県	945	大分県	20.3	宮崎県	50,665	岐阜県	533
島根県	949	香川県	20.1	愛媛県	50,677	東京都	536
東京都	949	岐阜県	19.7	和歌山県	51,713	島根県	536
大分県	951	熊本県	19.7	熊本県	57,467	石川県	537
千葉県	956	滋賀県	19.1	石川県	57,974	愛知県	541
徳島県	959	宮崎県	19.0	岐阜県	58,050	埼玉県	541
長崎県	960	佐賀県	18.6	長野県	58,427	千葉県	542
福井県	967	岩手県	18.5	栃木県	59,570	静岡県	543
宮崎県	969	愛媛県	18.4	奈良県	60,139	佐賀県	543
岡山県	970	栃木県	17.5	鹿児島県	69,616	宮城県	543
兵庫県	975	福井県	17.0	静岡県	79,674	鹿児島県	544
三重県	982	秋田県	16.9	福島県	83,015	長崎県	546
山梨県	987	宮城県	16.8	青森県	83,378	福岡県	550
福岡県	993	徳島県	16.8	新潟県	87,911	富山県	552
石川県	994	兵庫県	16.7	群馬県	89,054	山口県	556
秋田県	1,002	山梨県	16.6	茨城県	96,209	秋田県	556
茨城県	1,005	山形県	16.2	宮城県	115,809	栃木県	560
鳥取県	1,011	鹿児島県	16.2	広島県	118,519	愛媛県	563
北海道	1,013	長崎県	16.0	京都府	126,858	三重県	571
富山県	1,017	群馬県	15.6	埼玉県	131,130	福井県	576
大阪府	1,018	沖縄県	15.3	千葉県	162,690	高知県	584
宮城県	1,018	京都府	14.4	福岡県	193,138	徳島県	585
和歌山県	1,035	石川県	14.3	愛知県	214,737	山梨県	589
新潟県	1,039	福島県	13.8	兵庫県	257,922	和歌山県	603
群馬県	1,050	青森県	13.7	神奈川県	264,905	青森県	623
山口県	1,051	和歌山県	13.6	東京都	358,704	茨城県	626
青森県	1,069	大阪府	13.2	北海道	409,285	福島県	649
福島県	1,084	奈良県	13.1	大阪府	423,077	群馬県	656
平均	958	平均	20.6	全国総量	4,538,202	平均	527

(11) 市町村における一般廃棄物の目標に関する状況（平成26年度実績（速報））

◎生活系ごみ+事業系ごみ、○：生活系ごみ

国の基本方針に示された一般廃棄物の目標		◎再生利用率		◎最終処分量		国の基本方針に新たに追加された一般廃棄物の目標	
◎1人1日当たりのごみ排出量 (集団回収量を含む)		◎再生利用率		◎最終処分量		○1人1日当たりの生活系ごみ排出量 (資源ごみ排出量・集団回収量を除く)	
市町村	g/人・日	市町村	%	市町村	トン	市町村	g/人・日
太子町	712	豊能町	30.6	千早赤阪村	218	守口市	345
交野市	736	忠岡町	30.0	能勢町	270	大阪市	370
島本町	747	河内長野市	25.8	田尻町	354	能勢町	395
四條畷市	805	寝屋川市	21.9	太子町	412	泉佐野市	399
守口市	818	枚方市	21.9	豊能町	454	高石市	421
豊中市	819	茨木市	21.7	河南町	583	豊中市	422
熊取町	826	千早赤阪村	20.6	岬町	608	泉大津市	424
松原市	846	守口市	20.1	忠岡町	823	枚方市	450
高石市	855	能勢町	19.2	島本町	867	寝屋川市	453
枚方市	856	河南町	19.2	熊取町	1,494	岸和田市	455
吹田市	857	堺市	18.9	四條畷市	1,962	摂津市	457
池田市	858	交野市	18.6	阪南市	2,283	交野市	464
八尾市	872	松原市	18.6	高石市	2,312	茨木市	472
寝屋川市	875	阪南市	18.6	交野市	2,313	泉南市	473
豊能町	877	太子町	17.5	大阪狭山市	2,321	門真市	477
河内長野市	879	岬町	17.2	泉南市	2,910	吹田市	480
能勢町	883	吹田市	16.7	摂津市	3,038	阪南市	483
大東市	886	大阪狭山市	16.6	柏原市	3,222	和泉市	484
田尻町	891	四條畷市	16.6	泉大津市	3,391	熊取町	486
和泉市	894	富田林市	16.5	藤井寺市	3,461	豊能町	489
河南町	897	高石市	15.5	河内長野市	3,622	松原市	494
柏原市	897	島本町	15.4	松原市	3,990	池田市	504
阪南市	898	岸和田市	15.0	守口市	4,407	箕面市	507
高槻市	918	八尾市	14.8	吹田市	4,539	河内長野市	510
忠岡町	925	摂津市	14.7	箕面市	4,550	八尾市	510
大阪狭山市	936	泉大津市	14.6	富田林市	4,556	高槻市	510
千早赤阪村	947	熊取町	14.0	貝塚市	4,637	四條畷市	522
富田林市	948	箕面市	13.5	池田市	4,653	東大阪市	527
羽曳野市	950	豊中市	13.5	羽曳野市	5,265	島本町	538
箕面市	959	高槻市	13.1	茨木市	5,462	田尻町	542
泉南市	966	和泉市	13.0	泉佐野市	6,453	堺市	546
泉大津市	968	門真市	12.8	大東市	6,536	貝塚市	546
摂津市	1,004	大東市	12.7	門真市	7,075	大東市	559
藤井寺市	1,023	泉南市	12.3	和泉市	7,903	太子町	564
岸和田市	1,032	貝塚市	12.3	岸和田市	8,896	藤井寺市	570
門真市	1,033	池田市	12.0	寝屋川市	11,092	河南町	599
堺市	1,048	羽曳野市	11.0	枚方市	11,489	忠岡町	612
大阪市	1,060	東大阪市	10.2	高槻市	12,171	大阪狭山市	619
岬町	1,084	大阪市	9.3	八尾市	12,553	羽曳野市	631
茨木市	1,104	柏原市	8.0	豊中市	17,648	柏原市	665
東大阪市	1,116	藤井寺市	7.1	堺市	28,359	富田林市	675
貝塚市	1,123	田尻町	6.5	東大阪市	34,064	千早赤阪村	716
泉佐野市	1,272	泉佐野市	6.5	大阪市	148,046	岬町	783
平均	983	平均	13.8	府 総量	391,262	平均	460

(12) 新たな指標で表した都道府県における一般廃棄物の状況（平成 25 年度実績）

◎生活系ごみ+事業系ごみ、○：生活系ごみ

○1人1日当たりの生活系ごみ排出量（資源ごみ排出量を含む）	
都道府県	g/人・日
京都府	501
大阪府	529
沖縄県	535
広島県	557
熊本県	562
長野県	570
鳥取県	574
兵庫県	577
岡山県	579
山形県	581
奈良県	588
滋賀県	594
福岡県	595
神奈川県	596
岩手県	598
岐阜県	599
佐賀県	609
長崎県	615
石川県	616
香川県	618
静岡県	619
富山県	622
北海道	632
千葉県	635
大分県	643
宮崎県	644
愛知県	644
福井県	648
鹿児島県	650
埼玉県	653
島根県	658
東京都	659
栃木県	660
宮城県	662
秋田県	663
愛媛県	665
新潟県	672
山梨県	676
三重県	676
高知県	686
山口県	687
茨城県	691
和歌山県	693
徳島県	695
青森県	699
群馬県	726
福島県	745
平均	623

○生活系ごみ分別排出率	
都道府県	%
北海道	36.3
新潟県	32.9
長野県	32.5
神奈川県	32.2
香川県	27.7
東京都	27.4
愛知県	26.1
埼玉県	24.8
千葉県	24.2
宮城県	24.0
山口県	23.9
兵庫県	23.8
滋賀県	23.6
岩手県	23.4
広島県	23.1
富山県	23.0
岐阜県	22.6
熊本県	22.6
宮崎県	22.6
鳥取県	22.4
大阪府	22.2
三重県	22.0
山形県	21.8
徳島県	21.7
福井県	21.4
栃木県	21.4
京都府	21.2
島根県	21.0
大分県	20.7
岡山県	20.7
愛媛県	20.2
静岡県	19.3
山梨県	19.1
福島県	18.6
鹿児島県	18.6
秋田県	18.5
和歌山県	17.9
奈良県	17.9
長崎県	17.8
石川県	17.7
群馬県	17.4
高知県	16.8
福岡県	16.6
茨城県	16.1
青森県	15.8
佐賀県	14.9
沖縄県	12.8
平均	24.0

◎主に行政により分別収集が行われている品目の再生利用率	
都道府県	%
北海道	12.2
長野県	12.1
神奈川県	11.5
山口県	11.3
広島県	11.1
埼玉県	9.9
東京都	9.5
愛知県	9.5
新潟県	9.5
三重県	9.4
宮城県	9.3
宮崎県	9.1
鳥取県	8.6
島根県	8.6
香川県	8.6
静岡県	8.5
千葉県	8.1
長崎県	8.0
沖縄県	8.0
徳島県	8.0
高知県	7.8
岩手県	7.7
熊本県	7.6
和歌山県	7.5
大阪府	7.3
福井県	7.2
富山県	7.2
滋賀県	7.2
石川県	7.1
岡山県	7.1
愛媛県	7.0
京都府	6.9
鹿児島県	6.7
栃木県	6.4
大分県	6.3
岐阜県	6.2
福島県	6.0
山形県	5.9
青森県	5.7
佐賀県	5.7
兵庫県	5.2
秋田県	5.1
茨城県	5.1
福岡県	4.7
奈良県	4.4
群馬県	4.4
山梨県	4.1
平均	8.3

◎最終処分率	
都道府県	g/人・日
高知県	4.6
埼玉県	5.4
沖縄県	6.0
岡山県	6.1
佐賀県	6.2
静岡県	6.3
千葉県	7.5
三重県	7.6
東京都	7.8
岐阜県	8.3
山口県	8.3
愛知県	8.3
鳥取県	8.5
大分県	8.6
栃木県	8.6
島根県	8.7
長野県	8.8
茨城県	8.8
神奈川県	8.8
富山県	9.2
長崎県	9.6
秋田県	9.8
新潟県	9.8
山梨県	10.0
福井県	10.1
熊本県	10.2
福岡県	10.4
愛媛県	10.6
福島県	10.7
香川県	10.9
滋賀県	11.0
岩手県	11.1
群馬県	11.5
山形県	11.6
鹿児島県	12.0
徳島県	12.2
広島県	12.5
宮崎県	12.5
奈良県	12.8
大阪府	12.8
兵庫県	12.8
宮城県	13.4
和歌山県	13.5
石川県	13.7
京都府	14.3
青森県	15.6
北海道	20.3
平均	10.1

(13) 新たな指標で表した市町村における一般廃棄物の状況（平成26年度実績（速報））

◎生活系ごみ+事業系ごみ、○：生活系ごみ

○1人1日当たりの生活系ごみ排出量 (資源ごみ排出量を含む)		○生活系ごみ 分別排出率		◎主に行政により分別収集が行われている品目の 再生利用率		◎最終処分率	
市町村	g/人・日	市町村	%	市町村	%	市町村	%
大阪市	430	豊能町	36.0	守口市	12.1	吹田市	4.0
守口市	440	守口市	34.0	寝屋川市	10.3	茨木市	4.9
泉佐野市	444	寝屋川市	32.7	豊能町	9.7	豊能町	6.6
泉大津市	456	能勢町	31.4	交野市	9.0	能勢町	7.4
高石市	459	枚方市	31.0	枚方市	7.7	堺市	8.7
豊中市	489	松原市	30.2	熊取町	7.6	枚方市	9.0
能勢町	490	河内長野市	29.1	河内長野市	7.4	岬町	9.1
摂津市	495	阪南市	26.8	阪南市	7.2	箕面市	9.6
枚方市	506	岸和田市	26.8	松原市	6.9	摂津市	9.7
茨木市	507	高石市	25.7	能勢町	6.8	河内長野市	10.2
吹田市	518	交野市	25.3	岸和田市	6.3	守口市	10.2
岸和田市	524	摂津市	25.2	門真市	6.2	高槻市	10.2
和泉市	529	河南町	24.7	千早赤阪村	6.1	島本町	10.3
箕面市	537	茨木市	24.5	太子町	6.1	松原市	10.5
交野市	541	千早赤阪村	23.4	島本町	5.9	千早赤阪村	10.9
高槻市	544	門真市	23.3	豊中市	5.9	交野市	11.0
門真市	546	泉大津市	23.1	四條畷市	5.7	河南町	11.1
泉南市	552	大阪市	22.6	河南町	5.7	熊取町	11.2
八尾市	553	八尾市	22.0	岬町	5.3	太子町	11.3
熊取町	555	四條畷市	21.9	貝塚市	5.1	富田林市	11.3
池田市	557	豊中市	21.8	大東市	5.1	大阪狭山市	11.8
東大阪市	565	泉南市	21.2	大阪市	5.1	四條畷市	11.8
寝屋川市	571	高槻市	21.1	泉南市	5.0	岸和田市	11.8
四條畷市	574	熊取町	21.0	富田林市	4.7	阪南市	12.2
松原市	577	和泉市	20.9	堺市	4.4	田尻町	12.5
島本町	584	大阪狭山市	20.9	田尻町	4.2	泉大津市	12.6
河内長野市	585	堺市	20.7	八尾市	4.0	貝塚市	12.6
阪南市	588	箕面市	20.4	泉佐野市	4.0	高石市	12.7
堺市	590	吹田市	20.4	摂津市	3.6	泉南市	12.9
藤井寺市	595	貝塚市	20.4	大阪狭山市	3.6	和泉市	12.9
貝塚市	604	富田林市	20.2	忠岡町	3.6	羽曳野市	13.2
大東市	606	太子町	19.9	吹田市	3.3	忠岡町	13.6
太子町	607	忠岡町	19.4	東大阪市	3.3	柏原市	13.6
田尻町	613	東大阪市	18.8	池田市	3.1	泉佐野市	13.7
豊能町	638	島本町	18.8	箕面市	2.9	藤井寺市	13.9
河南町	639	大東市	18.0	茨木市	2.9	大阪市	14.3
大阪狭山市	650	池田市	17.9	高石市	2.7	寝屋川市	14.4
羽曳野市	652	泉佐野市	14.2	泉大津市	2.5	池田市	14.5
忠岡町	656	羽曳野市	13.9	和泉市	2.5	八尾市	14.6
柏原市	690	田尻町	12.3	高槻市	2.4	豊中市	14.7
富田林市	719	藤井寺市	12.0	柏原市	1.8	門真市	14.8
千早赤阪村	764	岬町	10.3	藤井寺市	1.8	大東市	16.3
岬町	847	柏原市	8.9	羽曳野市	0.4	東大阪市	16.7
平均	515	平均	22.5	平均	4.9	平均	12.3

(14) 市町村のごみ排出量等（平成26年度実績（速報））

市町村	総排出量（生活系+事業系）		生活系			事業系		再生利用量			再生利用率（%）
	総排出量（t）	1人1日当たりの総排出量（g/人・日）	生活系排出量（t）	1人1日当たりの排出量（g/人・日）	うち、混合可燃ごみ（g/人・日）	事業系排出量（t）	1人1日当たりの排出量（g/人・日）	再生利用量（t）	1人1日当たりの再生利用量（g/人・日）	うち、集団回収量（g/人・日）	
大阪市	990,803	1,017	418,884	430	356	571,919	587	96,440	99	44	9.3
堺市	296,614	958	182,666	590	515	113,948	368	62,600	202	90	18.9
岸和田市	68,980	943	38,290	524	409	30,690	420	11,405	156	89	15.0
豊中市	113,091	773	71,578	489	406	41,513	284	16,125	110	46	13.5
池田市	30,483	812	20,912	557	429	9,571	255	3,867	103	46	12.0
吹田市	103,428	783	68,420	518	435	35,008	265	18,920	143	74	16.7
泉大津市	24,316	874	12,692	456	420	11,624	418	3,920	141	94	14.6
高槻市	107,526	829	70,535	544	458	36,991	285	15,618	120	90	13.1
貝塚市	34,292	1,045	19,797	604	509	14,495	442	4,518	138	77	12.3
守口市	39,459	744	23,349	440	327	16,110	304	9,154	173	73	20.1
枚方市	108,881	731	75,417	506	405	33,464	225	27,901	187	125	21.9
茨木市	101,992	1,003	51,506	507	417	50,486	496	24,325	239	101	21.7
八尾市	76,472	777	54,401	553	489	22,071	224	12,693	129	95	14.8
泉佐野市	46,351	1,252	16,425	444	391	29,926	808	3,064	83	21	6.5
富田林市	35,966	849	30,472	719	518	5,494	130	6,616	156	100	16.5
寝屋川市	69,759	794	50,171	571	391	19,588	223	16,773	191	81	21.9
河内長野市	31,394	774	23,741	585	420	7,653	189	9,195	227	105	25.8
松原市	34,515	769	25,908	577	370	8,607	192	7,058	157	77	18.6
大東市	37,053	817	27,487	606	529	9,566	211	5,106	113	69	12.7
和泉市	55,618	813	36,218	529	478	19,400	284	7,966	116	81	13.0
箕面市	43,065	874	26,451	537	442	16,614	337	6,377	129	85	13.5
柏原市	22,692	861	18,197	690	582	4,495	170	1,886	72	37	8.0
羽曳野市	36,884	876	27,446	652	590	9,438	224	4,284	102	74	11.0
門真市	44,741	967	25,245	546	410	19,496	421	6,138	133	66	12.8
摂津市	28,399	914	15,396	495	382	13,003	418	4,586	148	90	14.7
高石市	16,012	751	9,799	459	413	6,213	291	2,823	132	104	15.5
藤井寺市	23,786	980	14,453	595	470	9,333	384	1,757	72	43	7.1
東大阪市	189,626	1,040	103,036	565	490	86,590	475	20,803	114	76	10.2
泉南市	21,590	923	12,923	552	413	8,667	370	2,774	119	43	12.3
四條畷市	14,969	724	11,874	574	466	3,095	150	2,755	133	81	16.6
交野市	19,416	682	15,411	541	389	4,005	141	3,899	137	55	18.6
大阪狭山市	17,353	822	13,720	650	521	3,633	172	3,390	161	113	16.6
阪南市	17,322	832	12,242	588	420	5,080	244	3,469	167	66	18.6
島本町	7,603	678	6,547	584	479	1,056	94	1,292	115	69	15.4
豊能町	6,039	771	4,999	638	452	1,040	133	2,097	268	105	30.6
能勢町	3,381	821	2,019	490	338	1,362	331	699	170	62	19.2
忠岡町	5,435	831	4,288	656	571	1,147	175	1,412	216	94	28.8
熊取町	12,659	781	8,994	555	415	3,665	226	1,869	115	44	14.0
田尻町	2,828	890	1,946	613	453	882	278	185	58	1	6.5
岬町	6,529	1,063	5,207	847	707	1,322	215	1,149	187	21	17.2
太子町	3,297	644	3,111	607	409	186	36	639	125	69	17.5
河南町	4,586	782	3,746	639	429	840	143	1,009	172	115	19.2
千早赤阪村	1,727	817	1,614	764	460	113	53	414	196	130	20.6
大阪府計	2,956,932	913	1,667,533	515	424	1,289,399	398	438,970	136	70	13.8

(15) 市町村のプラスチック製容器包装、古紙の行政回収の取組みと資源化量(平成26年度)

市町村	プラスチック製容器包装の収集	1人1日当たりのプラスチック類の資源化量 (g/人・日)	古紙の行政回収	1人1日当たりの古紙の資源化量 (g/人・日)		
				行政回収	集団回収	計
大阪市	○(週1)	25.1	○(月2)	11.9	41.1	53.0
堺市	○(週1)	19.3	○(月1:美原区)	1.7	85.5	87.1
岸和田市	○(週1)	37.7		0.0	84.7	84.7
豊中市	○(週1)	25.7	○(月2)	15.8	42.8	58.6
池田市	○(月2)	10.7	○(月1)	18.2	43.3	61.5
吹田市	※	1.5	○(月2)	10.9	69.0	79.9
泉大津市	△(月2)	8.7	○(月2)	16.9	89.0	105.9
高槻市	※	0.9	○(月2)	10.8	82.6	93.4
貝塚市	○(週1)	33.6		0.0	75.3	75.3
守口市	○(週1)	41.1	○(月2)	20.3	67.1	87.4
枚方市	○(週1)	30.6		0.0	116.3	116.3
茨木市	□(月2)	5.9	○(月1)	9.3	93.9	103.2
八尾市	○(週1)	17.3		0.0	88.5	88.5
泉佐野市	○(週1)	19.3	○(月2)	7.3	19.3	26.5
富田林市	○(月2)	19.6		0.0	92.9	92.9
寝屋川市	○(週1)	45.6	○(週1)	43.0	75.9	118.9
河内長野市	○(月2)	22.0	○(月1)	22.5	97.0	119.6
松原市	○(週1)	31.1	○(月2)	25.3	73.6	98.9
大東市	○(週1)	23.8		0.1	63.5	63.6
和泉市	○(月2)	7.9	○(月2)	8.9	77.0	85.9
箕面市	※	3.2		3.8	80.4	84.2
柏原市	※	1.3		3.0	34.5	37.5
羽曳野市		0.0		0.0	70.5	70.5
門真市	○(週1)	24.9	○(月1)	9.8	62.2	72.0
摂津市	△(月2)	7.2	○(月1)	22.1	81.6	103.8
高石市	△(月2)	7.3		0.0	98.7	98.7
藤井寺市	※	2.8	○(月1)	3.3	38.3	41.6
東大阪市	○(週1)	15.3		0.7	70.3	71.0
泉南市	○(週1)	24.9	○(週1)	23.8	40.4	64.2
四條畷市	○(週1)	27.2		0.0	73.6	73.6
交野市	○(週1)	37.4	○(月1)	12.9	49.7	62.6
大阪狭山市	○(月1)	5.2		0.0	105.8	105.8
阪南市	○(週1)	26.4	○(月2)	41.3	61.9	103.1
島本町	□(月1)	2.6	○(月1)	12.7	65.2	77.8
豊能町	○(週1)	30.3	○(月1)	70.1	97.3	167.4
能勢町	○(週1)	24.0	○(月1)	41.3	58.5	99.8
忠岡町	○(週1)	13.5		2.1	88.1	90.2
熊取町	○(週1)	25.5	○(月2)	14.4	40.7	55.1
田尻町	○(週1)	14.5	○(月2)	11.3	0.0	11.3
岬町	○(週1)	25.1	○(月7回以上)	106.8	18.2	125.0
太子町	○(月2)	19.7		0.0	62.8	62.8
河南町	○(月2)	18.6		0.0	105.3	105.3
千早赤阪村	○(月2)	21.3		0.0	119.2	119.2
大阪府計	—	20.5	—	10.0	65.5	75.5

- (週1) 13.5~45.6
- (月2) 7.9~22.0
- △(月2) 7.2~8.7
- (月1) (月2) 2.6~5.9
- ※ 0.9~3.2

○: プラスチック製容器包装を収集
 △: 白色トレイ、ペットボトルのみ回収
 □: ペットボトルのみ収集
 ※: ペットボトルを拠点回収

(16) 3Rに関する府民の意識と行動に関する調査結果

〈調査概要〉

- ・インターネットを活用したアンケート制度「おおさかQネット」による府民へのアンケートを実施（平成27年8月7日）
- ・回答総数1,000（国勢調査結果（平成22年）に基づく性・年代・居住地（8地域）の割合で割り付けた15歳以上の大阪府民）

〈調査結果〉

- ・日頃の3Rの取組み状況について

（単位：％）

取組み状況	全体	若者層 (15～39歳)	壮年層 (40～59歳)	高齢層 (60歳以上)
積極的に取り組んでいると思う。	8.6	6.6	6.7	12.9
ある程度取り組んでいると思う。	46.0	39.4	45.8	54.2
あまり取り組んでいないと思う。	24.0	27.0	24.0	20.3
ほとんど取り組んでいないと思う。	12.2	15.3	14.1	6.5
わからない。	9.2	11.6	9.3	6.1

- ・日頃取り組んでいる3Rの取組みについて（複数回答可）

（単位：％）

取組み	全体	若者層 (15～39歳)	壮年層 (40～59歳)	高齢層 (60歳以上)
詰め替え製品を買うようにしている。	62.7	55.6	66.3	67.7
ごみは市町村で定められた分別に従って出している。	62.3	47.1	65.4	77.7
レジ袋をもらわないようにしたり、マイバックを持参している。	56.8	49.2	56.1	66.8
買い過ぎ、作り過ぎをせず、食品を捨てないようにしている。	44.1	36.8	45.8	51.3
壊れたものは修理して、長く使用するようにしている。	34.7	27.8	32.7	45.2
牛乳パックやトレイなどの店頭回収に協力している。	34.5	23.3	36.9	45.8
簡易包装に取り組んだり、使い捨ての箸を使用しない店を選ぶ。	14.8	10.1	17.6	17.7
フリーマーケットやバザー、リサイクルショップを利用している。	11.5	12.7	12.2	9.4
リサイクル製品を購入するようにしている。	10.2	7.1	11.2	12.9
レンタルやリースを利用している。	4.6	4.5	6.4	2.9
取り組んでいない。	10.8	15.3	10.3	5.8

(17) 市町村の環境教育等の取組み（市町村ホームページ等より）

市町村	主に小学校等への環境教育・環境学習に関する取組み	その他の特徴的な取組み
大阪市	小中学校の授業の中で使用するための副読本「おおさか環境科」を作成し、小学4年生から中学生へ配布	環境学習情報の発信と共有を目的とした特設ポータルサイト「なにわエコスタイル」の運営
堺市	環境学習副読本「わたしたちと環境」を作成し、市内全小学4年生へ配布	
岸和田市	市民団体等の実施する環境学習・環境教育プログラムの作成を支援	
豊中市	保育所・幼稚園の年長児を対象とした絵本「きょうの給食なーにかな」を作成し、配布	食品ロスを減らすためのレシピを募集する「エコレシピコンテスト」の開催
池田市	子どもたちにごみに対する正しい理解を深めてもらうことを目的として、小学生を対象とした3R出前授業「ごみスクール」を実施	
吹田市	市資源リサイクルセンターにおいて、小・中学校で行われている環境学習に対して、ごみの分別や廃品利用等の講座による体験学習を実施	
泉大津市	環境学習副読本の活用	
貝塚市	市内小学4年生を対象とした環境学習出前講座を実施	
守口市	小学生用副読本「わたしたちのくらしとごみ」の作成・配布	
枚方市	環境副読本「わたしたちのくらしと環境」を刊行し、毎年市内小学校4年生全員に配付	ごみ減量イベントにおいて、栄養専門学校へ通う学生らがヘタや皮、種などを活用した料理を販売し、食品ロスの削減を啓発
茨木市	小学校へ環境学習の副読本を配布	
八尾市	ごみ削減のための啓発活動として、市内の保育所、小中学校等を対象に出前講座を実施	
寝屋川市	小学4年生を対象に、施設見学及び市のごみについての講義・ビデオ鑑賞による環境学習を実施	ホームページ上で、ごみ減量につながるエコレシピを募集し、ホームページや「ごみ通信」へ掲載
河内長野市	環境冊子「エコのまち河内長野 みんなで一緒に」を作成し、市内公共施設などで配布。「放課後子ども教室（スキップ）」でエコバッグを作成するなど地域・学校での環境教育への取組み	

大東市	小学4年生用に環境副読本「大東のかんきょう」を作成し、配布	
和泉市	小学4年生向け副読本「ごみとわたしたち」を作成し、配布。学校への出前授業を実施	
箕面市	市内小学生を対象に、社会の学習の一環として廃棄物処理施設を見学し廃棄物の処理の流れ、3Rについて学習	
柏原市	環境保全に対する意識啓発を目的として、ごみの分別や収集作業、3Rについて小学校での出前授業を実施	
藤井寺市	小学校において、ごみが辿ってきた歴史とこれからのあり方、3R推進などについての出前講座を実施	
東大阪市	自治会、保育所、学校を対象に出前講座を実施し、ごみ処理の流れや分別の説明、エコバッグの手作り等を実施	
四條畷市	幼稚園・保育園等における出前講座を実施	
交野市	市内小学校・幼稚園での出前講座開催。環境副読本の作成、配布	
阪南市	容器包装の分別についての生涯学習・出前講座を実施	
島本町	「ごみの減量・資源化について」等の出前講座を実施	
豊能町	小学校、幼稚園、保育所で環境学習を実施。ごみの分け方や出し方について、町の職員が出向きわかりやすく説明する「井戸端会議」を実施	
能勢町		野菜や果物の皮を捨てずに食べるレシピを募集し、ホームページで公表
熊取町	町立小学校において、4年生を対象にごみの出し方・減らし方に関するセミナーを実施	
田尻町	「ゴミと地球環境」について出前講座を実施	

(出典) 各市町村ホームページ、平成26年度「ごみ減量・リサイクル推進週間」事業実施報告、平成26年度「環境衛生週間」事業実施報告、平成27年度「ごみ減量・リサイクル推進週間」事業実施報告

(18) 市町村のスマートフォンアプリを活用した周知啓発の取組み

市町村	アプリの名称	主な機能
大阪市	ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」	収集日カレンダー、収集日アラーム、ごみ分別帳、ごみ出し便利帳
高槻市	「高槻市ごみアプリ」	分別に関する単語検索、ごみの分け方・出し方の解説、収集日カレンダー、収集日アラーム
貝塚市	「ピカッと貝塚!!」	ごみ出しカレンダー、ごみ出し通知、ごみ分別辞典
富田林市	「富田林市ゴミチェッカー」 「富田林市ゴミかれんだー」	ごみの分別方法を確認 ごみの収集日カレンダー
柏原市	「柏原市ゴミチェッカー」	ごみの種類の検索、収集日カレンダー、拠点収集（ペットボトルや紙パックなど）の収集場所や収集品目の表示

(出典) 各市町村ホームページ

(19) 生活系ごみに占める生ごみ、紙ごみ、プラスチック製容器包装の割合

(単位：%)

市	大阪市	堺市	高槻市	吹田市
年度	H26	H26	H26	H25
生ごみ	36.2	41.0	36.1	22.2
手つかず食品	5.8	4.3	4.5	-
紙ごみ	32.3	32.8	25.8	33.6
資源化可能な紙ごみ	14.9	16.9	13.5	9.6
プラスチック製容器包装 (分別収集実施)	7.1	5.9	-	-
(分別収集未実施)	-	-	15.5	11.3

(出典) 大阪市：第58回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料（H27.9）から大阪府作成

堺市：生活ごみ組成分析調査（平成26年度）H27.3

高槻市：高槻市一般廃棄物処理基本計画策定のためのごみ組成調査報告書 H26.10

吹田市：すいたの環境 H26年度版

(20) 市町村の事業系ごみ削減にむけた取組み

○大阪市

- ・平成 25 年 10 月より市の焼却工場への再生可能な紙類の搬入を禁止
- ・事業系ごみの古紙について「古紙回収協力店制度」を設け、小規模事業者の古紙の分別排出を促進

(単位: トン)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
事業系ごみ排出量	865,699	710,193	707,888	710,749	688,675	627,754	571,918

○堺市

- ・平成 26 年 10 月より清掃工場への併せ産廃の搬入を禁止、搬入物の検査機を導入し、展開検査を強化
- ・紙ごみの減量・リサイクルに向けた呼びかけ・意識啓発を実施
- ・事業系ごみ・産業廃棄物の適正処理と減量の取組み事例を紹介する「事業系一般廃棄物減量セミナー」を開催

(単位: トン)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
事業系ごみ排出量	135,951	128,391	128,310	125,173	129,076	126,091	111,406

○高槻市

- ・平成 21 年に条例において定めていた併せ産廃の規定を削除
 - 一般廃棄物許可業者を通し、排出事業者へ産業廃棄物を混入しないよう注意を喚起
 - 事業系一般持込みごみの事前届出制度を開始

(単位: トン)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
事業系ごみ排出量	72,624	55,482	39,043	38,556	37,353	37,253	36,991

○寝屋川市

- ・事業所から提供された新聞や雑誌などの資源物も、地域の集団回収活動団体の奨励金の交付対象とし、事業所から排出される資源物を地域の集団回収に提供できる制度を実施（平成 20 年開始）

○摂津市

- ・事業系古紙の登録回収制度（平成 14 年ごみ処理手数料の改定に併せて開始）
 - 古紙の回収を希望する小規模事業所は事前に登録。古紙業者等と打合せの上、回収日時などを設定して個別回収

(21) 事業系ごみに占める紙ごみ、プラスチックの割合

(単位：%)

市	大阪市	高槻市	豊中市	吹田市
年度	H24	H26	H26	H25
資源化可能な紙ごみ	26.1	23.4	13.5	12.8
プラスチック	14.8	14.3	14.3	21.4

(出典) 大阪市：事業系一般廃棄物排出実態調査報告書（平成 24 年度）

高槻市：高槻市一般廃棄物処理基本計画策定のためのごみ組成調査報告書 H26.10

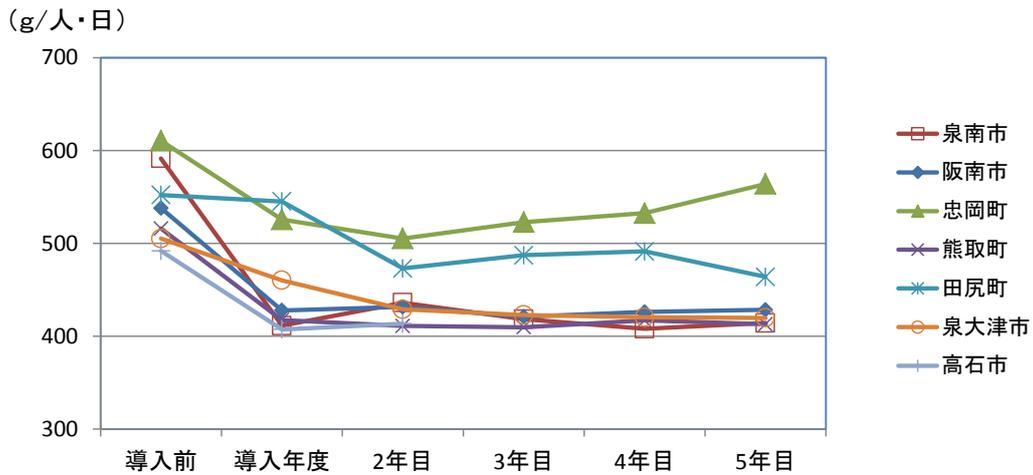
豊中市：豊中市事業系ごみ減量マニュアル（平成 27 年度）

吹田市：すいたの環境 H26 年度版

(22) 生活系混合/可燃ごみの有料化実施市町村

市町村名	導入年月	手数料等
富田林市	H8年2月	指定配付枚数を超えるとき シール 30L用1枚50円、45L用1枚100円
河内長野市		
大阪狭山市		
太子町		
河南町		
千早赤阪村		
岸和田市	H14年7月	指定配付枚数を超えるとき シール 30L用1枚70円、45L用1枚100円
	H22年4月	指定袋 10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、 45L袋1枚45円
箕面市	H15年10月	指定配付枚数を超えるとき 指定袋 20L袋1枚40円、30L袋1枚60円
能勢町	H15年10月	指定配付枚数を超えるとき シール 45L用1枚100円
貝塚市	H16年4月	指定袋 30L袋1枚9円、45L袋1枚9円
池田市	H18年4月	指定配付枚数を超えるとき 指定袋 10L袋1枚20円、20L袋1枚40円、 30L袋1枚60円、40L袋1枚80円
	H24年4月	指定袋 10L袋1枚8円、20L袋1枚16円、 30L袋1枚24円、40L袋1枚32円
泉佐野市	H18年4月	指定袋 10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、 50L袋1枚50円
泉南市	H20年4月	指定袋 10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、 30L袋1枚30円、45L袋1枚45円
阪南市	H20年4月	指定袋 15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、 45L袋1枚45円
忠岡町	H20年10月	指定袋 20L袋1枚20円、30L袋1枚30円、 45L袋1枚45円
熊取町	H21年4月	指定袋 20L袋1枚10円、45L袋1枚20円
田尻町	H22年2月	指定袋 10L袋1枚10円、20L袋1枚20円、 50L袋1枚50円
泉大津市	H22年12月	指定袋 15L袋1枚15円、30L袋1枚30円、 45L袋1枚45円
高石市	H25年4月	指定配付枚数を超えるとき シール 15L用1枚30円、30L用1枚60円、 45L用1枚90円
和泉市	H27年10月	指定袋 5L袋1枚5円、10L袋1枚10円、 20L袋1枚20円、45L袋1枚45円

(23) 平成 19 年以降に生活系混合/可燃ごみ有料化を導入した市町の生活系ごみの収集量の経年変化

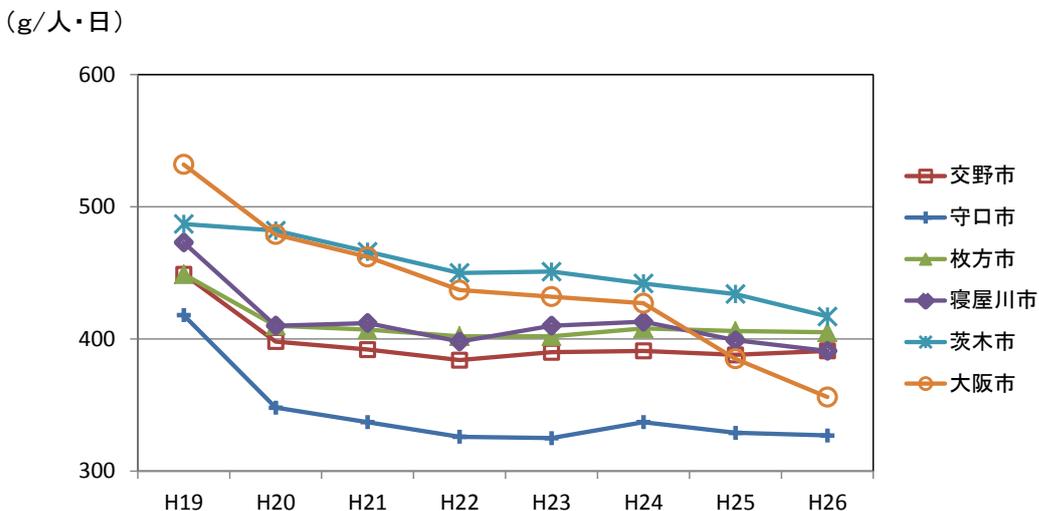


(24) 平成 19 年以降に有料化以外の施策を行って生活系ごみの量が減少した市の例と、生活系混合/可燃ごみの収集量の経年変化

〈平成 19 年以降に有料化以外の施策を行った市の例〉

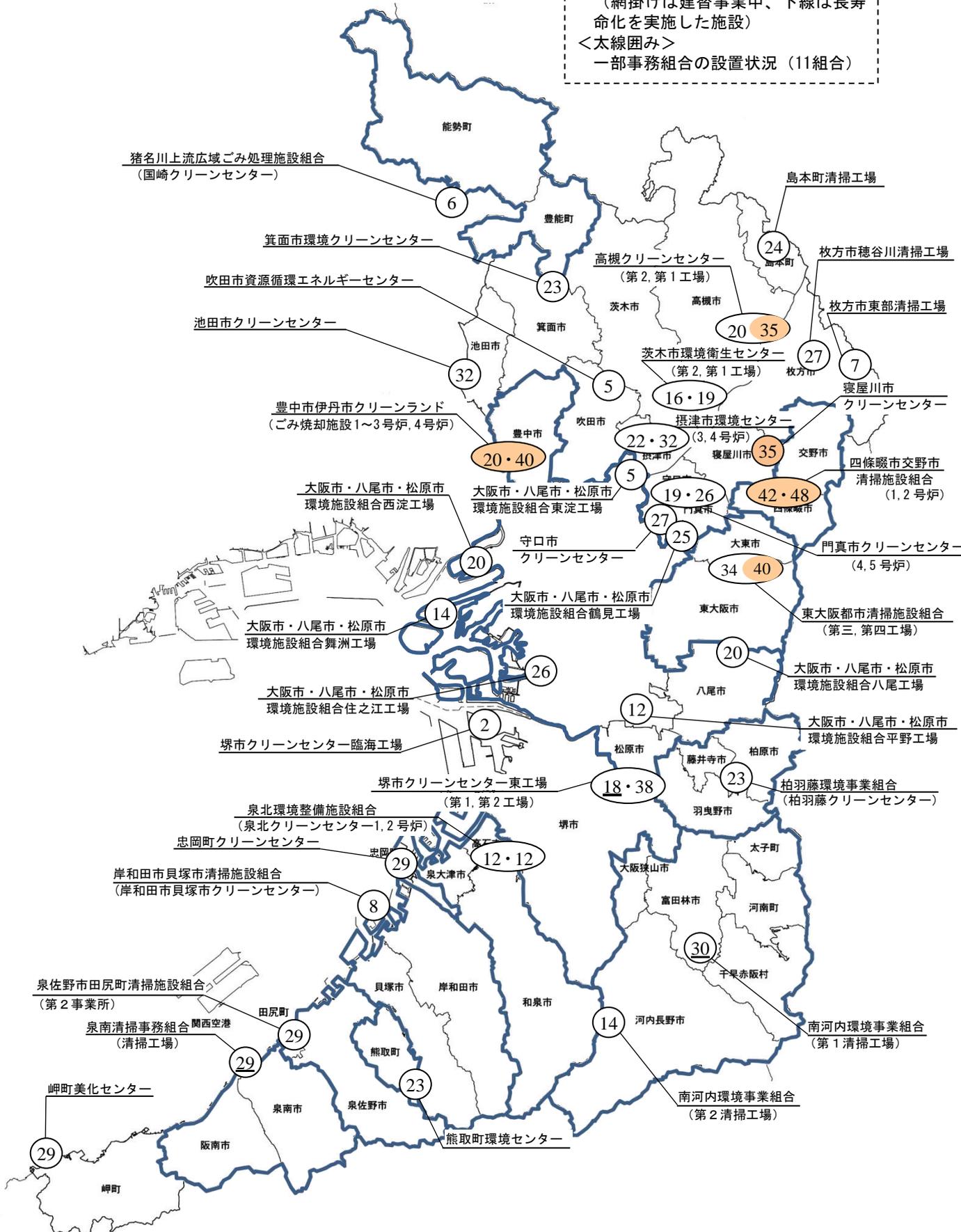
市町村名	導入年	施策
交野市	H19	容器包装プラ・ペットボトルの分別収集の開始
守口市	H19	容器包装プラの分別収集を開始
枚方市	H20	容器包装プラ・ペットボトルの全市収集開始
寝屋川市	H20	古紙・古布の分別収集の開始
茨木市	H20	古紙の行政収集開始、透明・半透明のごみ袋による排出制度の開始
大阪市	H25	古紙・衣類の全市収集開始、分別不適合ごみ袋の取り置きによる啓発・指導、資源化可能な紙類の市焼却工場への搬入禁止

〈生活系混合/可燃ごみの収集量の経年変化〉



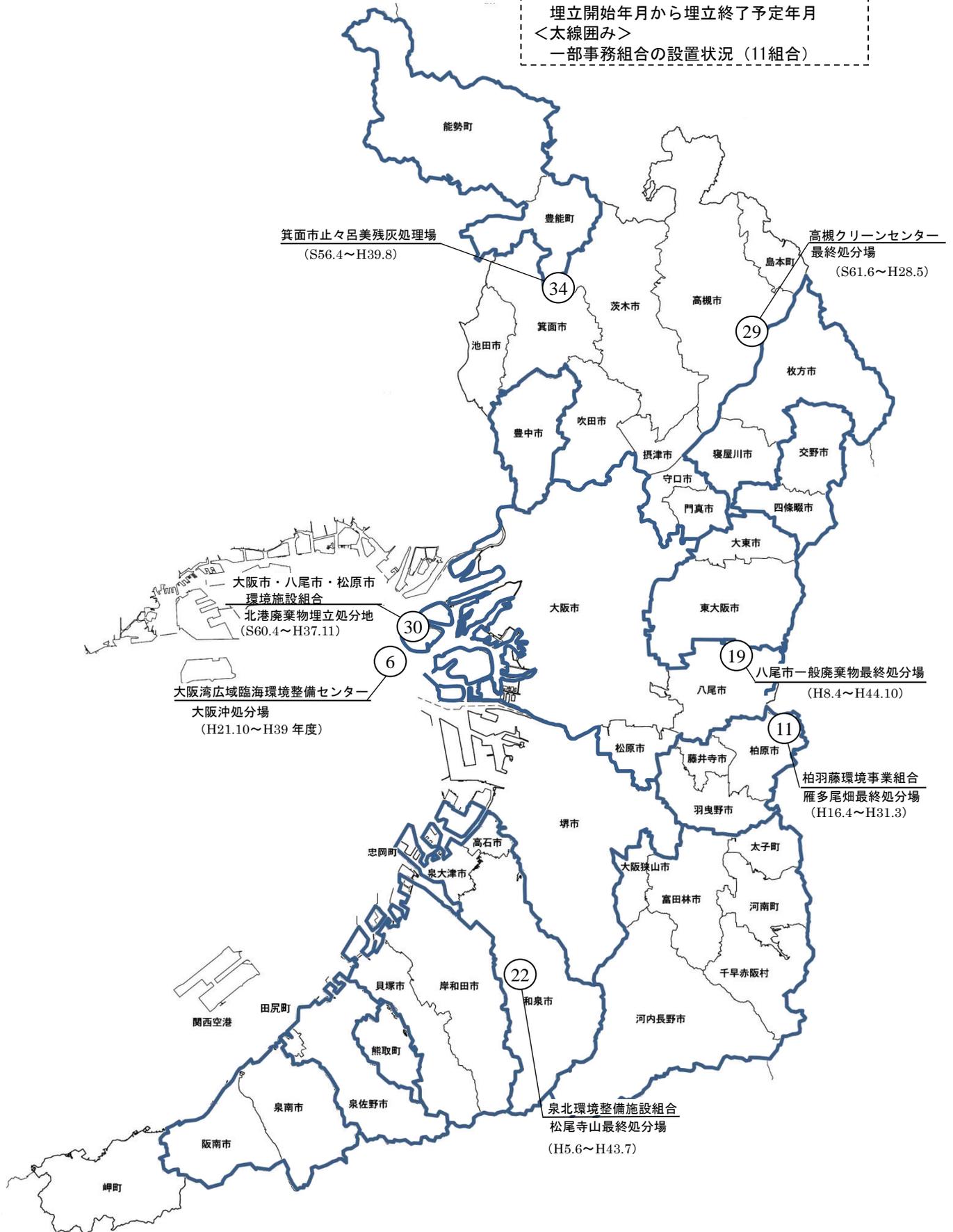
(25) 一般廃棄物焼却施設の設置場所及び設置後の経過年数

【凡例】
 <○数字>
 一般廃棄物焼却施設の設置場所、設置後の経過年数(H27.12.31時点)
 (網掛けは建替事業中、下線は長寿命化を実施した施設)
 <太線囲み>
 一部事務組合の設置状況(11組合)



(26) 最終処分場の設置場所及び埋立終了予定年月

【凡例】
 <○数字>
 最終処分場の設置場所、埋立開始からの
 経過年数(H27.12.31時点)
 <年月>
 埋立開始年月から埋立終了予定年月
 <太線囲み>
 一部事務組合の設置状況(11組合)



(27) フェニックス事業の状況

〈受入実績 (平成 27 年 9 月末現在)〉

処分場 (受入開始)	区画名	面積 (h a)	計画量 (千m ³)	埋立量 (千m ³)	残容量 (千m ³)	進捗率 (%)
尼崎沖 (H2. 1)	管理型	33	4,782	4,691	91	98.1%
	安定型	80	11,000	10,690	310	97.2%
	全体	113	15,782	15,381	401	97.5%
泉大津沖 (H4. 1)	管理型	67	10,800	10,382	418	96.1%
	安定型	136	20,000	18,368	1,632	91.8%
	全体	203	30,800	28,750	2,050	93.3%
神戸沖 (H13. 1)	管理型	88	15,000	10,628	4,372	70.9%
大阪沖 (H21. 10)	管理型	95	13,975	3,397	10,578	24.3%
合 計	管理型	283	44,557	29,098	15,459	65.3%
	安定型	216	31,000	29,058	1,942	93.7%
	全体	499	75,557	58,156	17,401	77.0%

泉大津沖と尼崎沖の管理型は廃棄物の受入終了

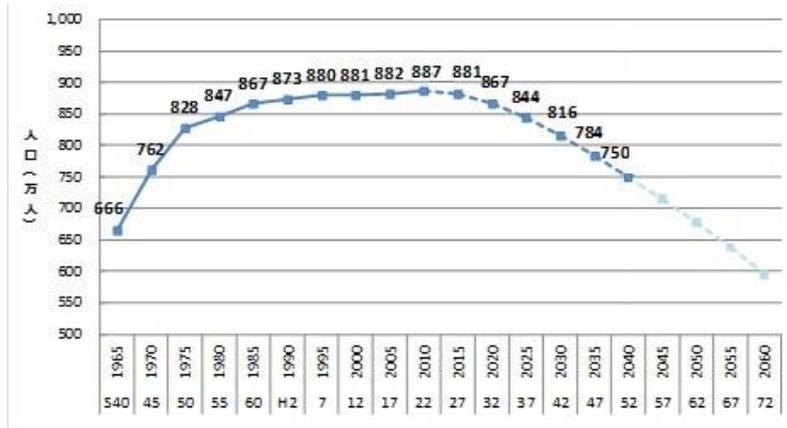
(出典) 大阪湾広域臨海環境整備センター資料から大阪府作成

〈フェニックス処分場への依存状況 (大阪府内・一般廃棄物)〉

	最終処分量 (万 t)	フェニックス搬入量 (万 t)	フェニックス依存度 (%)
H12	88	49	56
H17	70	49	70
H22	50	25	50
H25	43	25	59

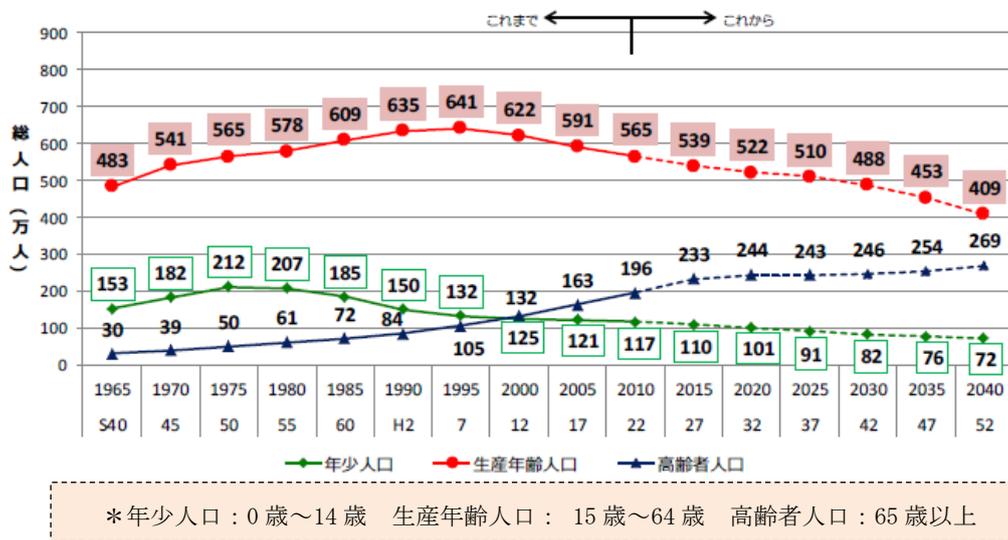
(出典) 一般廃棄物処理実態調査 (環境省) から大阪府作成

(28) 大阪府の人口の推移



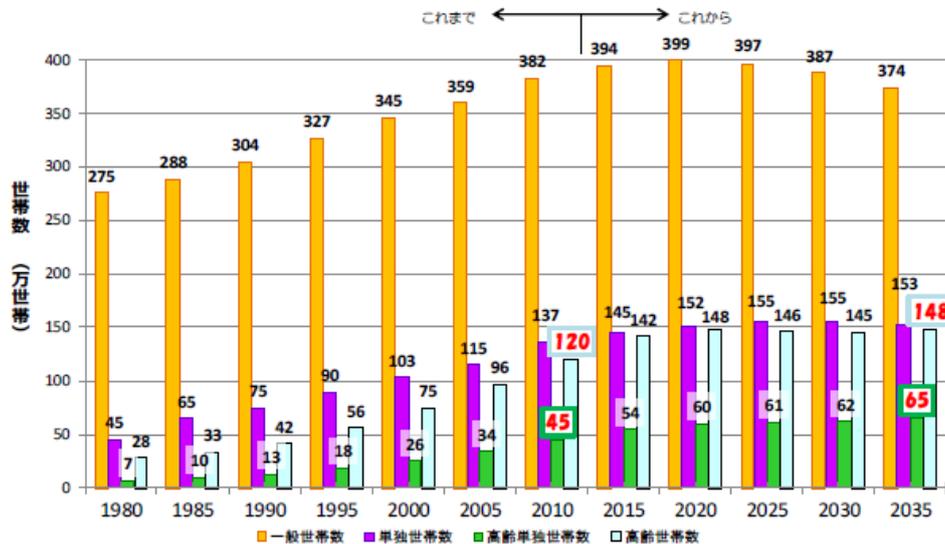
(出典) 大阪府人口ビジョン (素案)

(29) 大阪府の高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の推移



(出典) 大阪府人口ビジョン (素案)

(30) 大阪府の世帯数と世帯構成の変化



(31) 世帯構成の違いによるごみの排出実態の違い

〈世帯人数別のごみ排出量〉

(単位：g/人・日)

	1人	2人	3人	4人	全体
ごみ排出量	742.6	599.0	504.5	468.0	561.2
可燃ごみ排出量	445.0	363.5	325.6	286.3	350.7
資源ごみ排出量	256.0	198.8	133.7	161.0	174.9

(出典) 平成25年度港区ごみ排出実態調査報告書、平成24年度ごみ排出実態調査等報告書(板橋区)、
一般廃棄物処理基本計画改定に向けた廃棄物排出実態調査(台東区) H27.3、
目黒区資源とごみの排出実態調査 H22.2 から大阪府作成

〈世帯人数別の資源物の分別排出の比率(川崎市)〉

	1人	2人	3人	4人	5人以上
資源ごみのうち可燃ごみとして排出されていた割合	27.2%	11.9%	13.1%	17.1%	15.5%

(出典) 平成26年度市民ごみ排出実態調査報告書(川崎市)

〈世帯形態別ごみ排出量(東京都板橋区)〉

(単位：g/人・日)

	勤労世帯	自営業	年金世帯
可燃ごみ	354.2	309.9	479.6
不燃ごみ	23.1	10.9	41.5
資源ごみ	123.4	111.3	173.8
合計	500.7	432.1	694.9

(出典) 平成24年度ごみ排出実態調査等報告書(板橋区)

〈地域別ごみ排出量(東京都荒川区)〉

(単位：g/人・日)

	クラスター①	クラスター③	クラスター②
可燃ごみ	513.3	514.0	398.2
不燃ごみ	75.5	55.0	46.6
資源ごみ	243.2	199.5	167.4
合計	832.0	768.5	612.2

クラスター① 人口密度が高く、高齢者が多い地域
 クラスター③ 戸建持家が多く、高齢者が多い地域
 クラスター② 中高層住宅が多く、高齢者が少ない地域

(出典) 荒川区ごみ排出原単位等実態調査報告書 H22.9

(32) 紙おむつについて

〈紙おむつの生産枚数実績（全国）〉

（単位：百万枚）

	H22	H23	H24	H25	H26
乳幼児用	8,630	8,701	9,591	10,721	12,026
大人用	4,431	4,555	4,774	4,892	4,977
乳幼児用+大人用	13,061	13,256	14,365	15,613	17,003

（出典）日衛連 NEWS（日本衛生材料工業連合会）No. 72、No. 74、No. 77～79 から大阪府作成

〈紙おむつの需要予測（全国）〉

（単位：百万枚）

		H23	H24	H25	H26
乳幼児用	対象人口（千人）	3,646	3,597	3,536	3,468
	需要予測	8,630	8,573	8,500	8,405
	実績と予測の差	71	1,018	2,221	3,621
大人用	対象人口（千人）	2,095	2,168	2,238	2,304
	需要予測	4,562	4,749	4,931	5,105
	実績と予測の差	-7	26	-39	-128

（出典）日衛連 NEWS（日本衛生材料工業連合会）No. 72、No. 74、No. 77～79 から大阪府作成

〈出生数及び65歳以上高齢者人口（全国）〉

		H23	H24	H25	H26	平均
乳幼児用	出生数（千人）	1,051	1,037	1,030	1,001	—
	紙おむつ対象人口/出生数	3.47	3.47	3.43	3.46	3.46
大人用	65歳以上高齢者人口（千人）	29,800	30,740	31,860	32,950	—
	紙おむつ対象人口/高齢者人口	0.070	0.071	0.070	0.070	0.070

（出典）出生数は厚生労働省「人口動態統計」及び「平成26年人口動態統計の年間統計」、

65歳以上高齢者人口は総務省統計局「統計トピックス」No. 72、No. 90 から大阪府作成

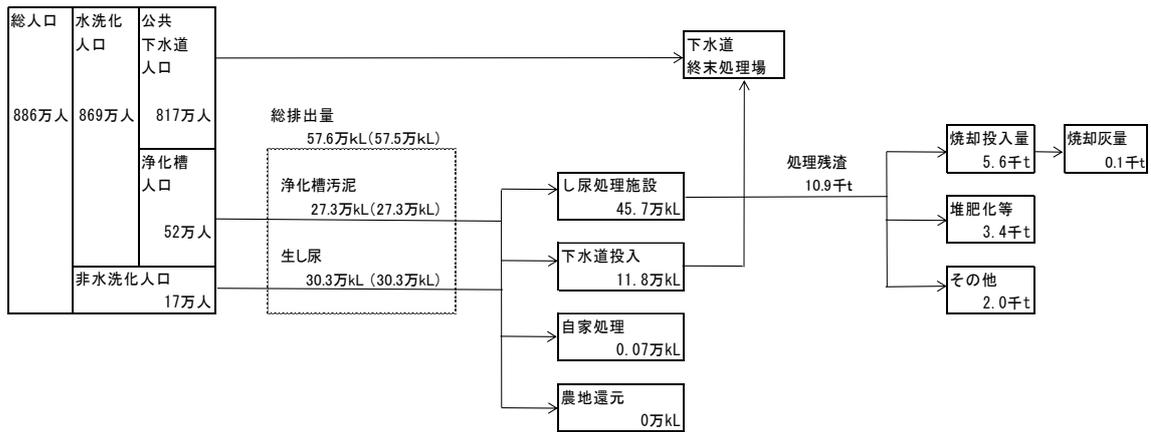
〈大阪府における出生数及び高齢者数の予測〉

	H22（実績）	H27	H32	H37	H42	H47	H52
総人口	887	881	867	844	816	784	750
出生数	7.5	7.0	6.1	5.4	5.1	4.9	4.5
65歳以上	196	233	244	243	246	254	269

（出典）大阪府人口ビジョン（素案）

2 一般廃棄物（し尿）

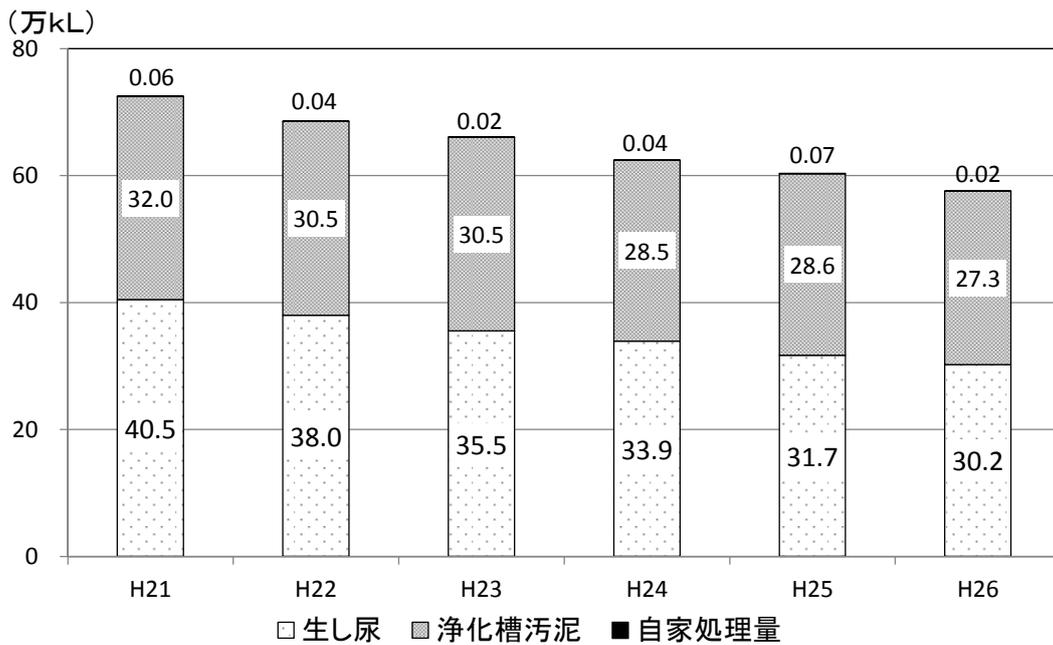
(1) し尿の処理フロー図（平成 26 年度）



※総排出量欄の（ ）内は、市町村の計画収集量を示す。

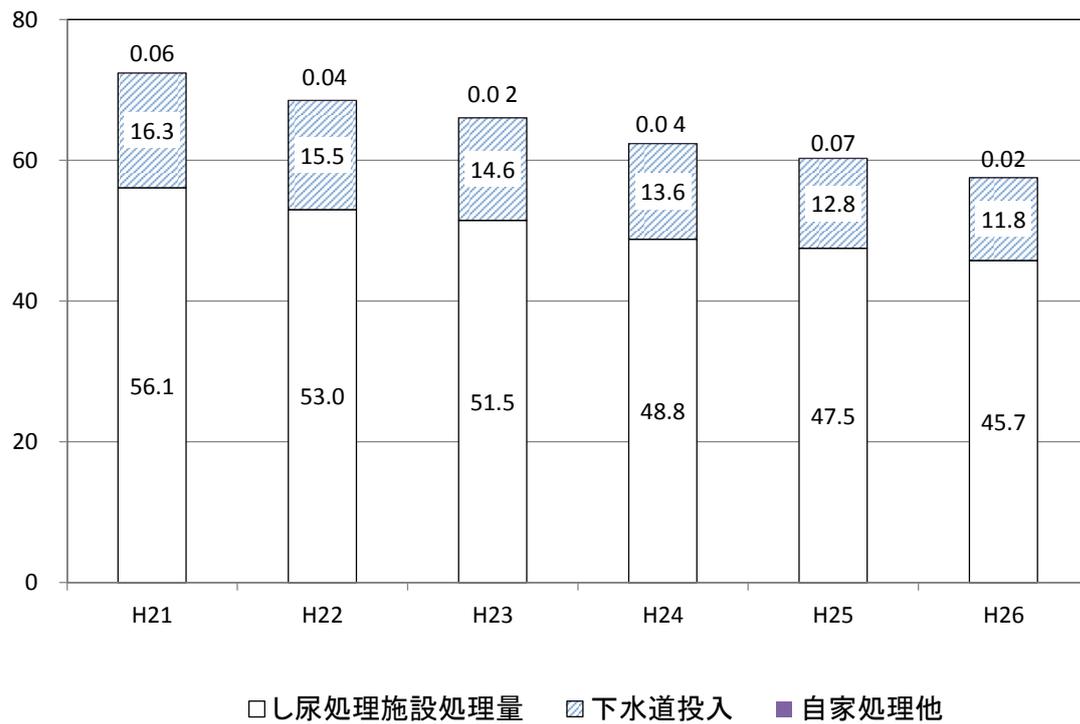
※四捨五入の関係で、各数値が合計値と一致しない場合がある。

(2) 府内におけるし尿排出量の推移



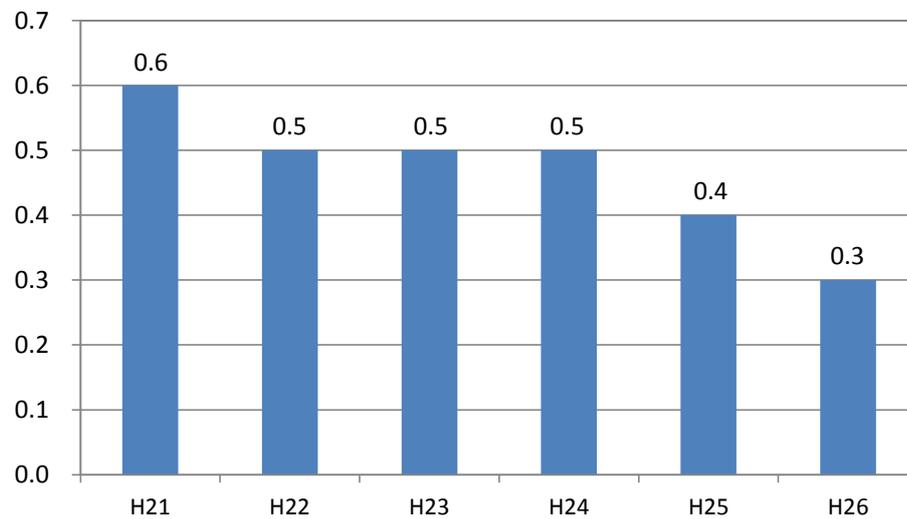
(3) 府内におけるし尿処理量の推移

(万kL)



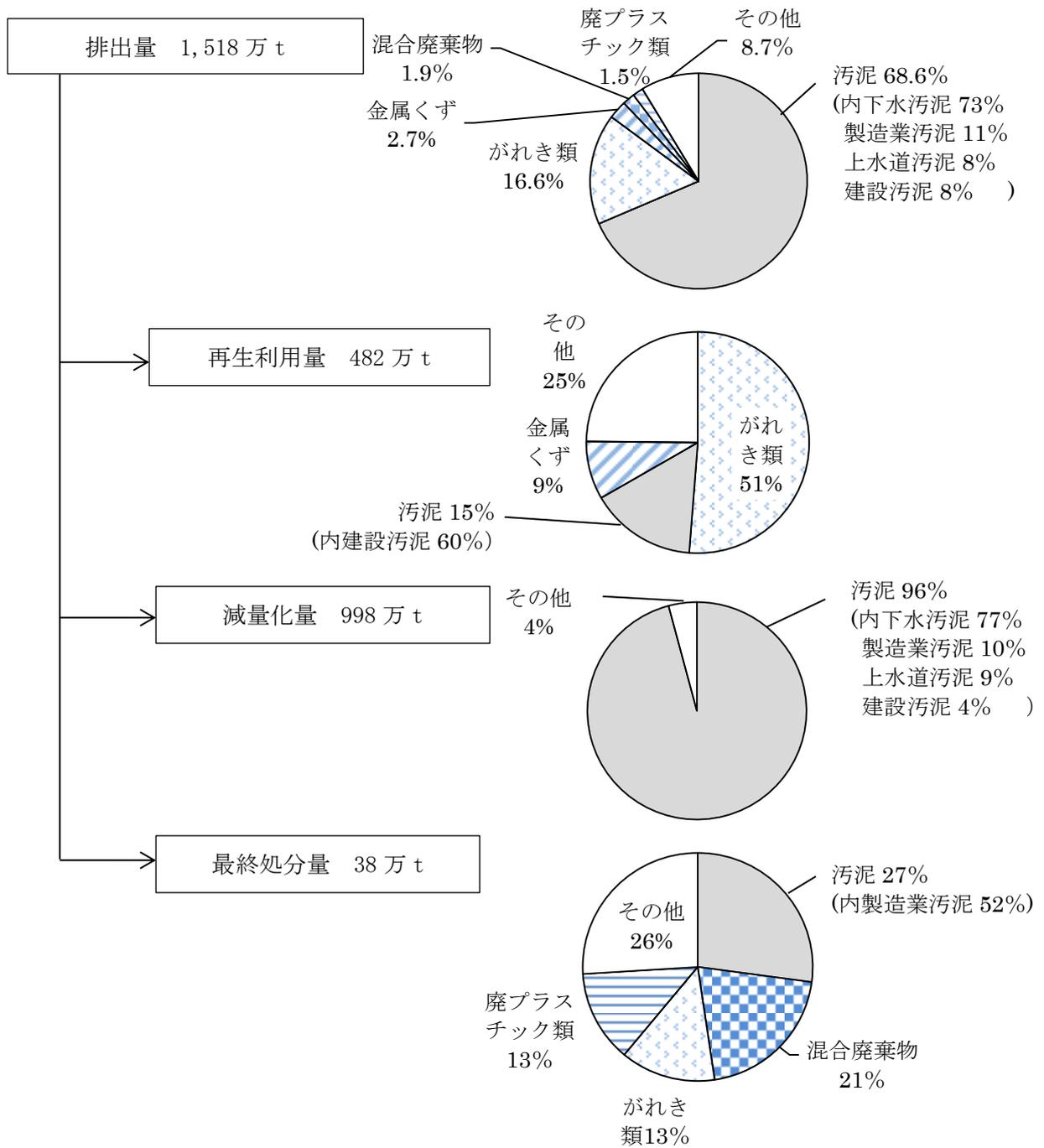
(4) 府内におけるし尿処理残渣の最終処分量の推移

(千t)

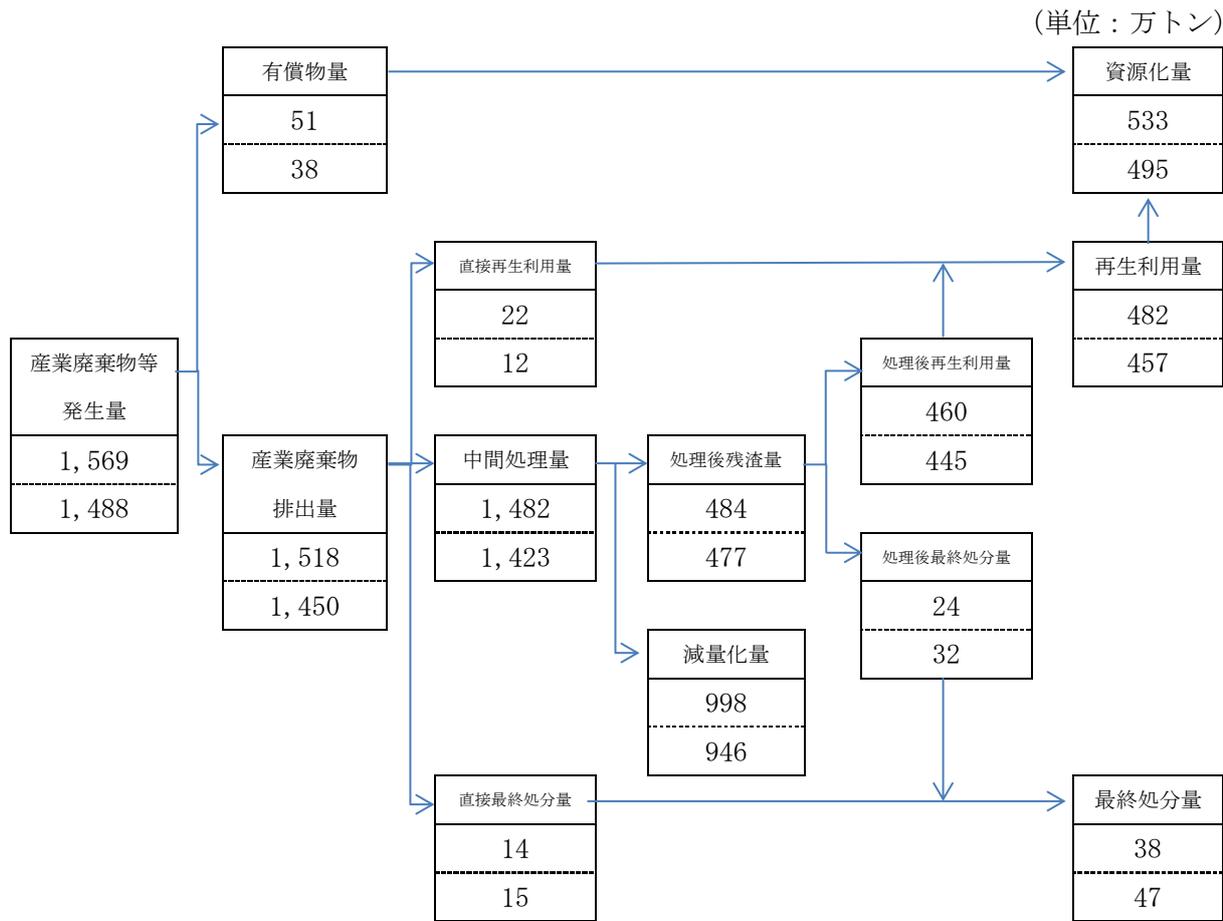


3 産業廃棄物

(1) 産業廃棄物の排出量等の内訳（平成 26 年度実績（速報））

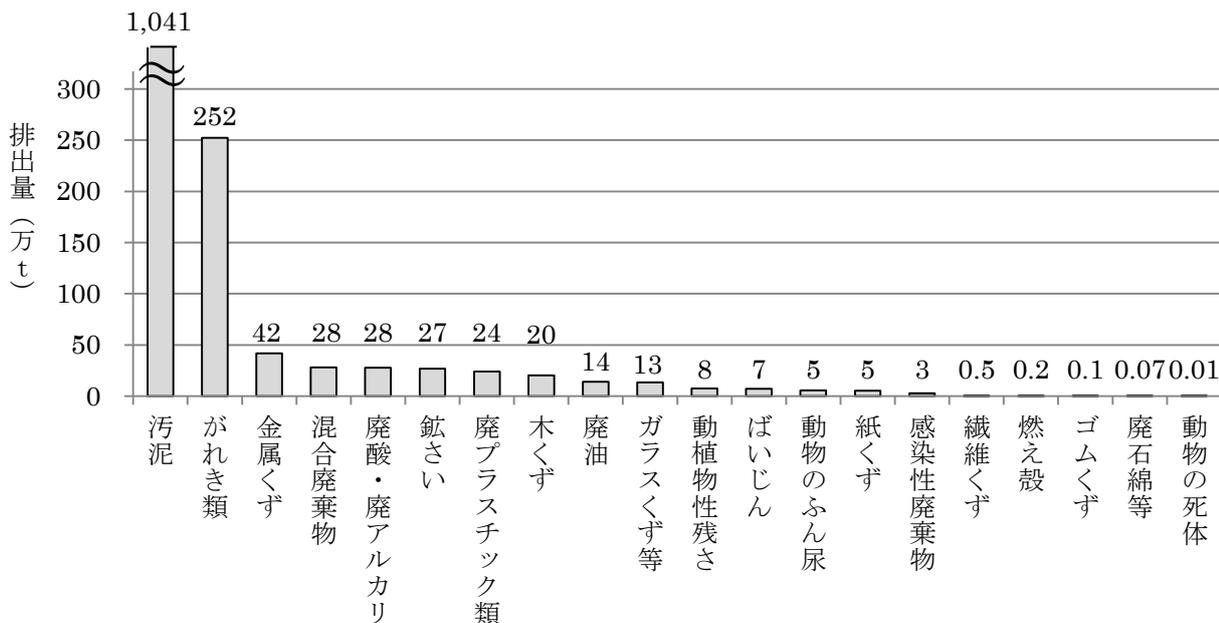


(2) 産業廃棄物の処理フロー図

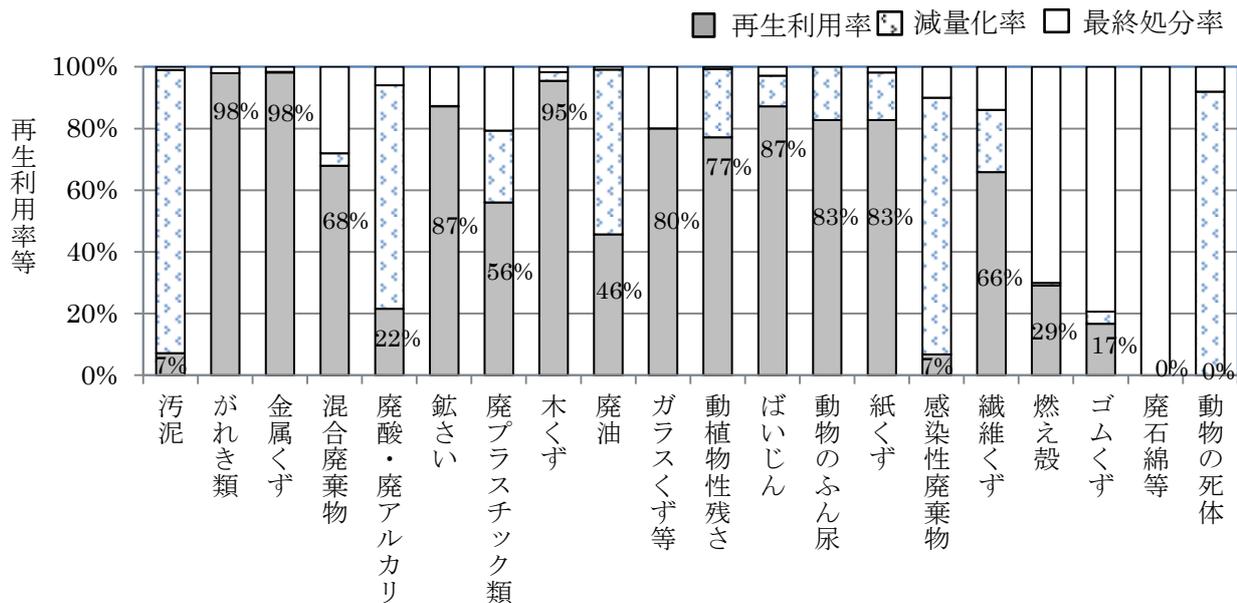


※上段は平成 26 年度実績(速報)、下段は平成 22 年度実績

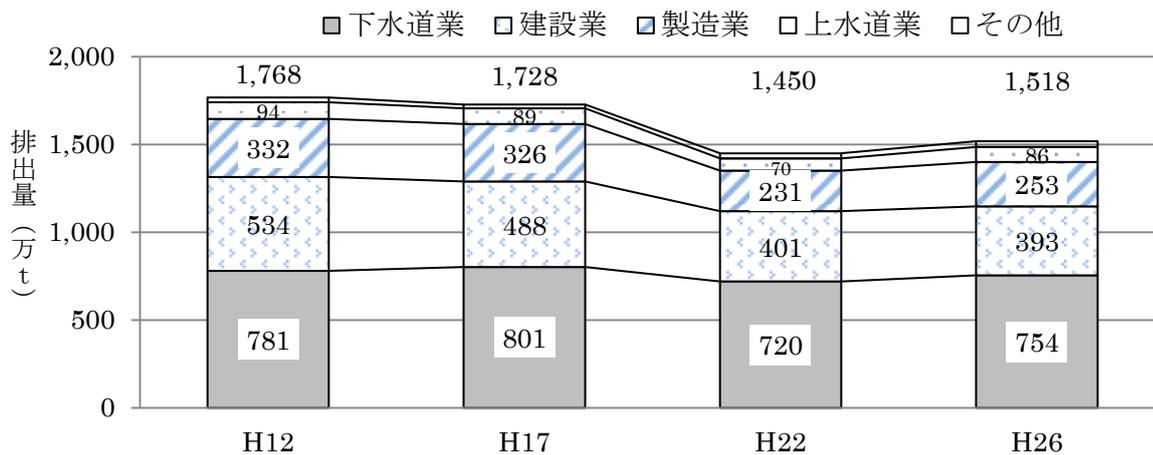
(3) 産業廃棄物の種類別の排出量



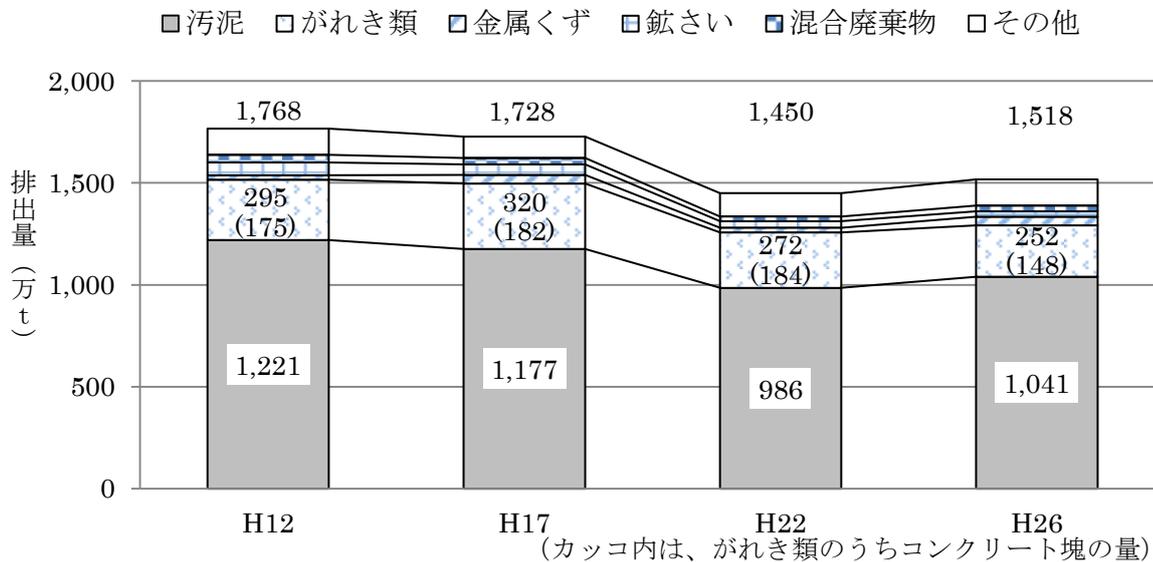
(4) 産業廃棄物の種類別の処理状況



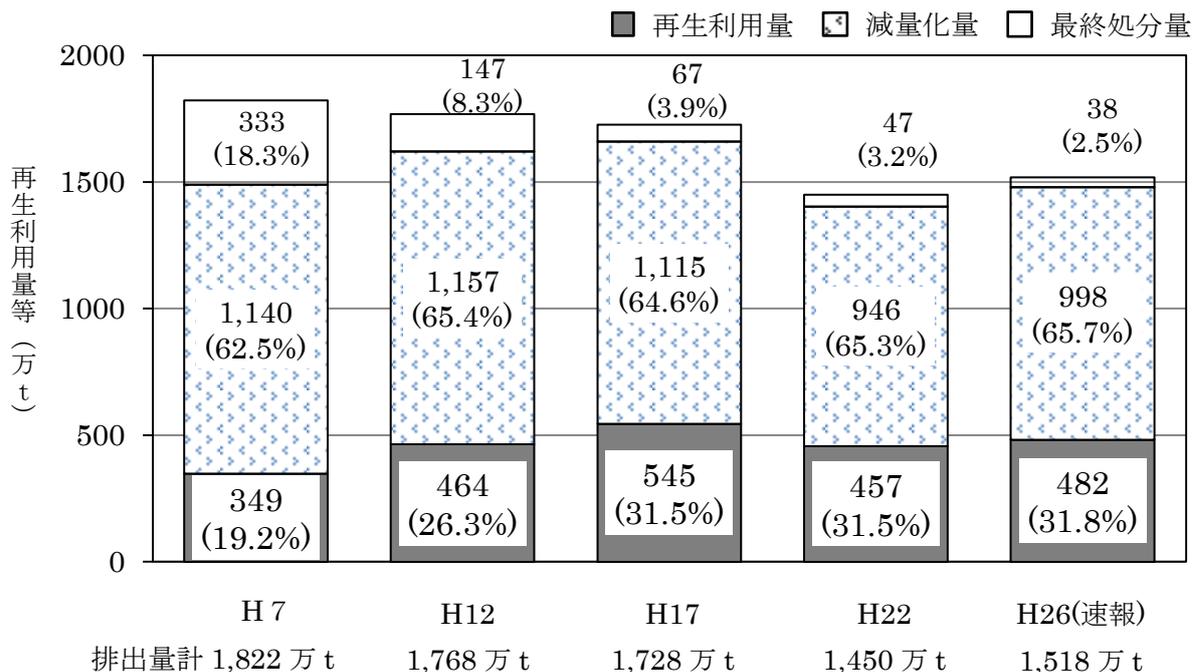
(5) 業種別の排出量の推移



(6) 産業廃棄物の種類別の排出量の推移



(7) 産業廃棄物の排出量等の推移



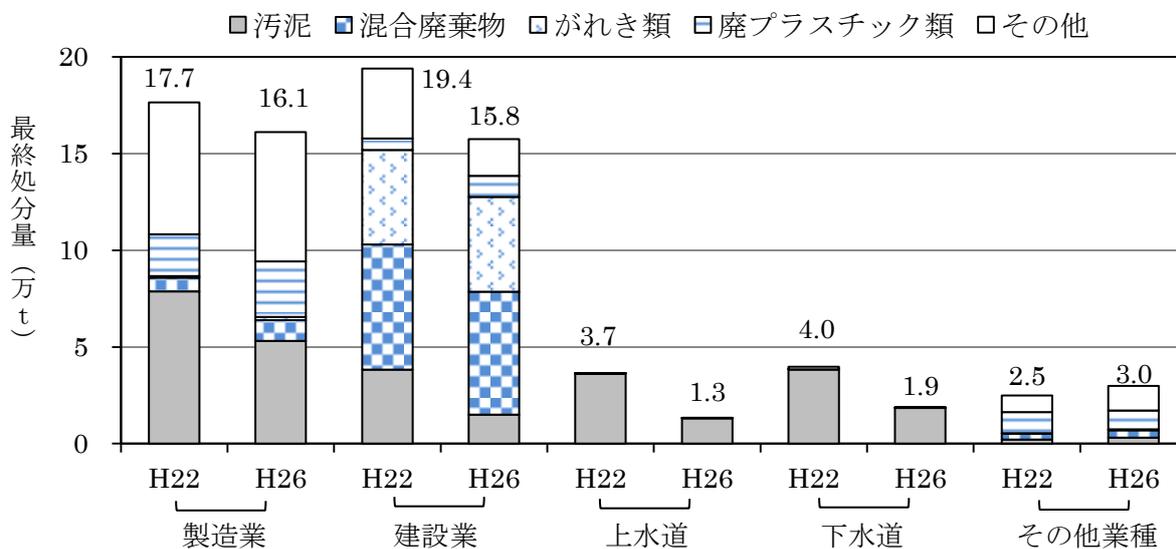
(8) 建設汚泥の排出量等の推移

(単位：万トン)

	平成 22 年度	平成 26 年度
排出量	85.0	84.8
再生利用量	59.2 (70%)	44.6 (53%)
減量化量	22.0 (26%)	38.7 (46%)
最終処分量	3.8 (4%)	1.5 (1%)

(カッコ内は、排出量に対する割合)

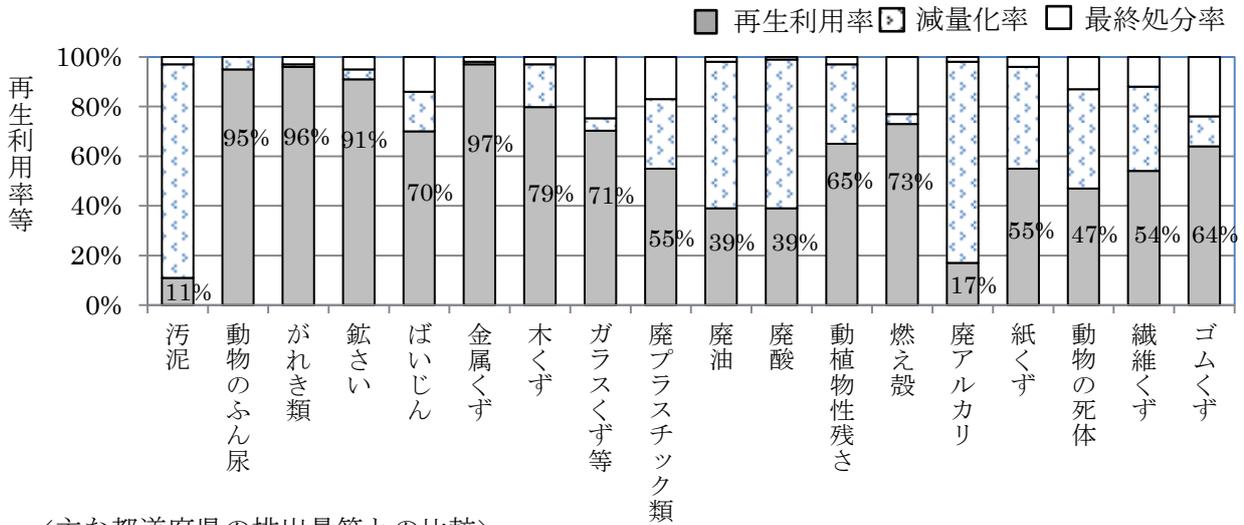
(9) 業種別の最終処分量の推移



(10) 主な都道府県の排出量等との比較

〈全国平均の産業廃棄物の種類別処理状況（平成24年度）〉

- ・産業廃棄物の種類ごとに再生利用の状況は異なる。



〈主な都道府県の排出量等との比較〉

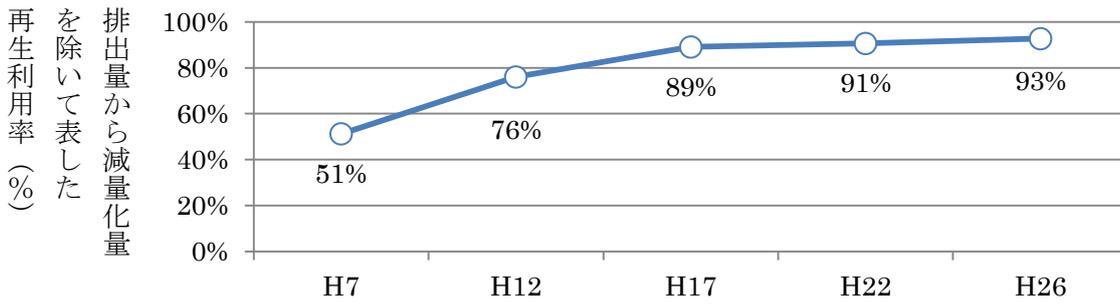
- ・大阪府と全国平均及び産業廃棄物の排出量の多い都道府県の種類別の割合と処理状況を比較
- ・再生利用率などの処理状況は、産業廃棄物排出量の種類別の割合の影響を受ける。

	産業廃棄物排出量の種類別の割合	産業廃棄物の処理状況
大阪府 (H26) 排出量合計 1,518 万 t		
全国平均 (H24) 排出量合計 37,913 万 t		
北海道 (H24) 排出量合計 3,875 万 t		

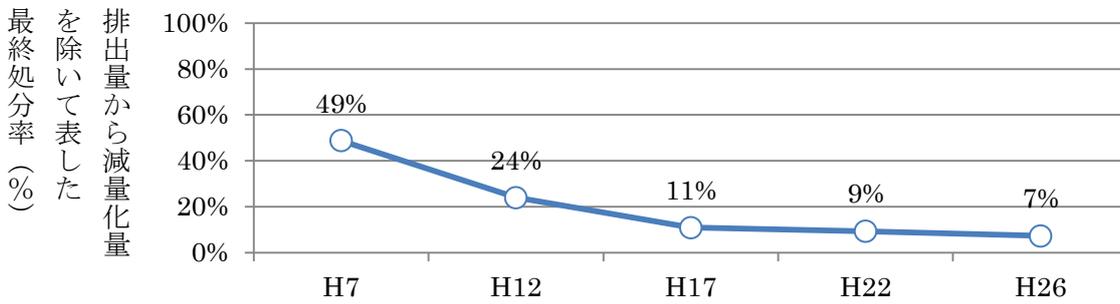
	産業廃棄物排出量の種類別の割合	産業廃棄物の処理状況
千葉県 (H20) 排出量 合計 2,488 万 t		
兵庫県 (H21) 排出量 合計 2,439 万 t		
東京都 (H24) 排出量 合計 2,357 万 t		
愛知県 (H21) 排出量 合計 1,780 万 t		
神奈川県 (H21) 排出量 合計 1,717 万 t		

(出典) (全国) 産業廃棄物排出・処理状況調査報告書 (H27. 3)
(北海道) 北海道産業廃棄物処理状況調査(平成 24 年度)
(千葉県) 千葉県産業廃棄物処理計画 (H23. 3)
(兵庫県) 兵庫県産業廃棄物処理計画資料編(H25. 3)
(東京都) 東京都産業廃棄物経年変化実態調査報告書 (H26. 12)
(愛知県) 平成 21 年度の一般廃棄物(ごみ)及び産業廃棄物の減量化状況
(神奈川県) 神奈川県産業廃棄物総合実態調査報告書 (H23. 2)

(11) 排出量から減量化量を除いて表した再生利用率

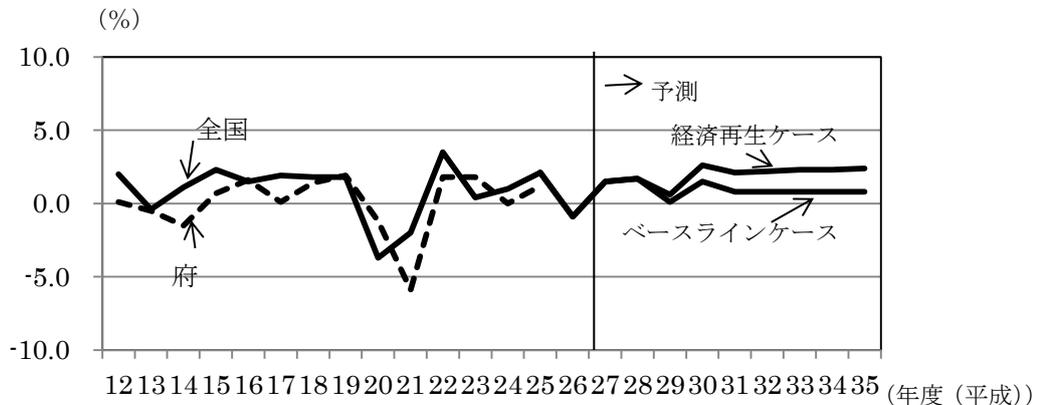


(12) 排出量から減量化量を除いて表した最終処分率の推移



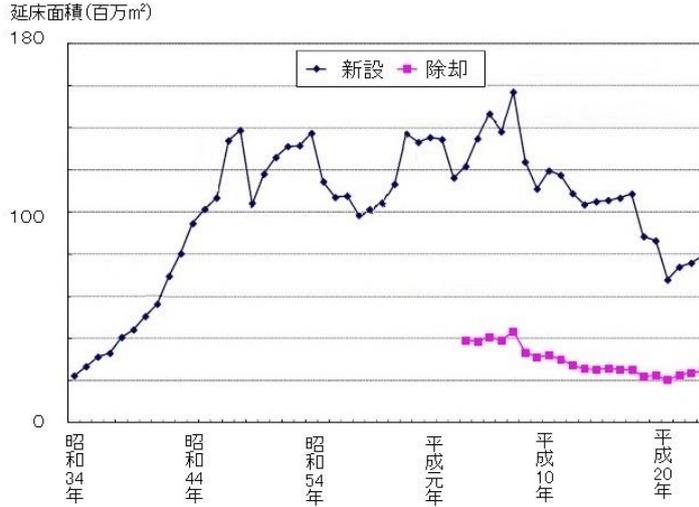
	大阪府(H26 実績(速報))	東京都 (H24)	全国 (H24)
排出量から減量化量を除いて表した再生利用率	93%	89%	94%
排出量から減量化量を除いて表した最終処分率	7%	11%	6%

(13) 大阪府の経済成長率及び全国の経済成長率の推移と今後の予測について



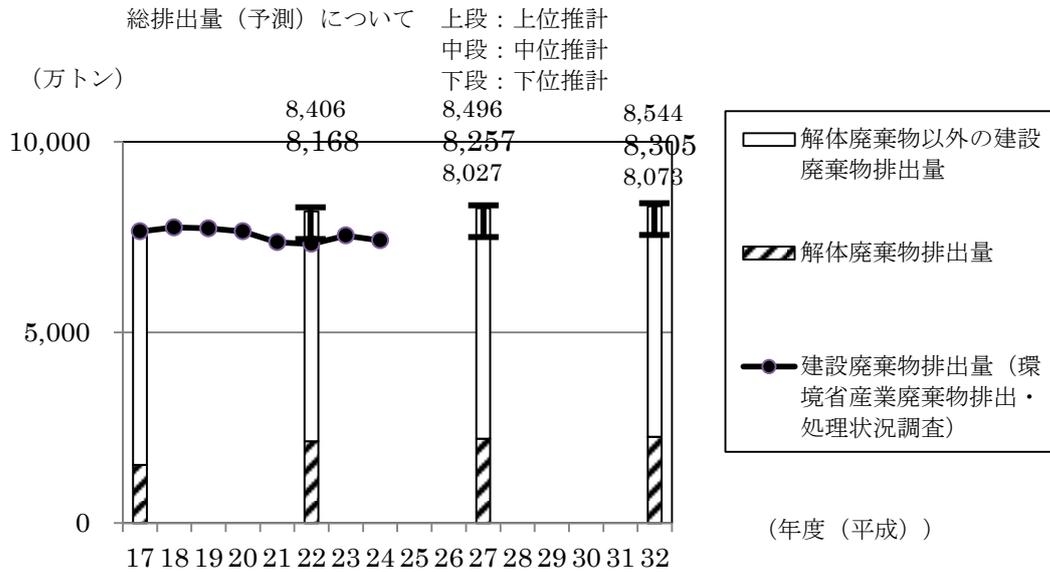
(出典) 経済成長率(全国) 内閣府 国民経済計算
 「中長期の経済財政に関する試算 (平成 27 年 7 月 22 日 経済財政諮問会議提出)」
 (府) 大阪府民経済計算

(14) 着工建築物及び除却建築物の床面積の推移（全国）



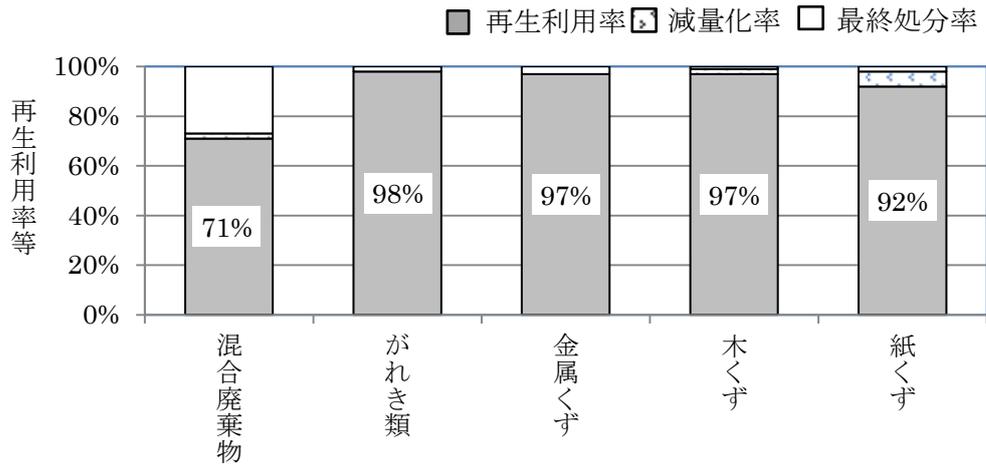
(出典) 社会資本整備審議会環境部会建設リサイクル推進施策検討小委員会
 交通政策審議会交通体系分科会環境部会建設リサイクル推進施策検討小委員会
 建設リサイクル推進施策検討小委員会 第8回合同部会（平成26年4月8日）配付資料より作成

(15) 建設廃棄物排出量の将来予測（全国）

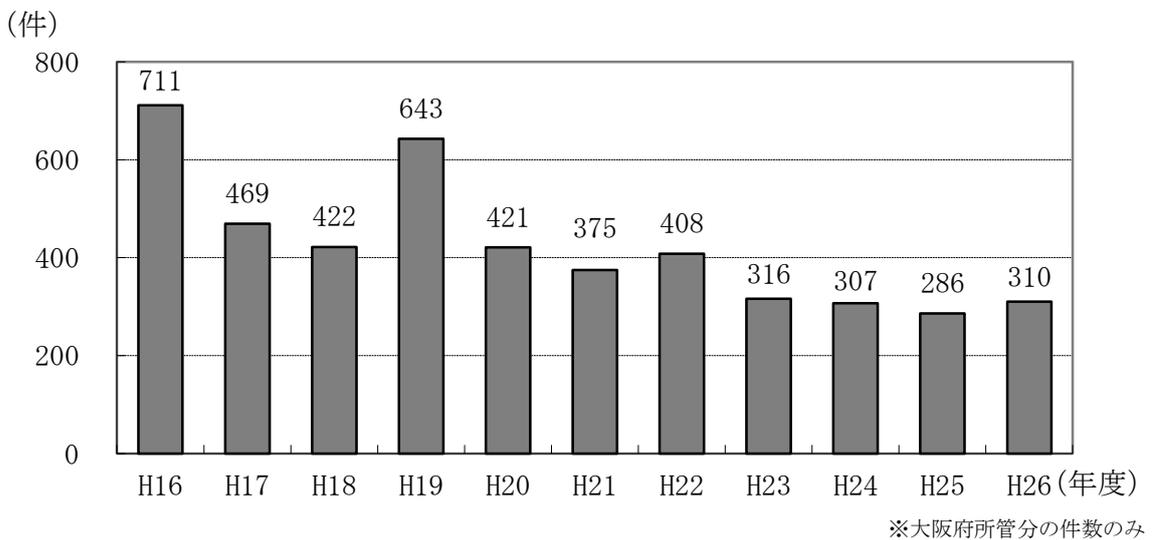


(出典) 中央環境審議会廃棄物・リサイクル部会建設リサイクル専門委員会、社会資本整備審議会環境部会建設リサイクル推進施策検討小委員会第2回合同部会（平成20年1月9日）資料を基に、環境省産業廃棄物排出・処理状況調査のデータを加えて作成

(16) 建設混合廃棄物とその他の建設廃棄物の再生利用率の比較



(17) 不適正処理の事案数



《将来推計の概要》

1 一般廃棄物

(1) 単純将来推計方法

(ア) 生活系ごみ

○人口

- ・「大阪府人口減少白書」(改訂版)の「地域別人口の推移」における平成22→37年の地域別人口減少率を1年あたりに割戻して平成32年度の各市の人口を推計し、合計して府の推計人口を算出した。

○府民1人1日当たりの排出原単位

- ・市町村別に平成22→26年度の排出量の推移から、平成32年度における府民1人1日当たりの排出原単位を算出した。

○排出量

- ・推計した人口と年間日数を乗じて各市における平成32年度の排出量を推計した。
- ・各市の推計結果を合計して、大阪府における排出量を推計した。

(イ) 事業系ごみ

○従業者1人1日当たりの排出原単位

- ・市町村別に平成22→26年度の排出量の推移から、平成32年度における従業者1人1日当たりの排出原単位を算出した。

○従業者数

- ・平成21年及び26年の経済センサスの従業者数から直線式を用いて、平成32年度の大阪府域における従業者数を推計した。次に、市町村別の従業者数を平成21年の市町村別比率を使用して算出した。

○排出量

- ・推計した従業者数と年間日数を乗じて各市における平成32年度における排出量を推計した。
- ・各市の推計結果を合計して、大阪府における排出量を推計した。

(ウ) 資源化量

- ・市町村別の直接資源化量、中間処理後再生利用量は、平成26年度の排出量の内訳が変わらないとして、推計した平成32年度排出量(生活系ごみ+事業系ごみ)より算出した。
- ・市町村別の集団回収量は、生活系ごみ排出量と同様の方法で推計した。
- ・直接資源化量、中間処理後再生利用量、集団回収量を合計して、各市における資源化量を推計した。
- ・各市の推計結果を合計して、大阪府における資源化量を推計した。

(エ) 最終処分量

- ・市町村別の直接処分量、焼却灰の量、焼却施設以外残渣量は、平成 26 年度の排出量の内訳がそのまま変わらないとして、推計した平成 32 年度排出量(生活系ごみ+事業系ごみ)より算出した。
- ・直接処分量、焼却灰の量、焼却施設以外残渣量を合計して、各市における最終処分量を推計した。
- ・各市の推計結果を合計して、大阪府における最終処分量を推計した。

(2) 現状のままで推移した場合の平成 32 年度推計値

(単位：万トン)

	平成 26 年度 実績 (速報)	平成 32 年度 (推計)
排出量	318.3	285.7
生活系	189.4	172.8
事業系	128.9	112.9
1 人 1 日当たり生活系排出量	451g/日・人	423g/日・人
再生利用量	43.9	39.0
再生利用率	13.8%	13.6%
最終処分量	39.1	33.9

(3) 対策等を見込んだ場合の将来推計 (平成 32 年度)

(ア) 対策の内容

○生活系ごみの削減

- ・手つかず食品の排出量を削減する。
- ・資源化可能な紙ごみの混入を削減する。
- ・プラスチック製容器包装の混入を削減する。(プラスチック製容器包装分別収集を行っている市町村のみ)

○事業系ごみの削減

- ・産業廃棄物(プラスチック)の混入を削減する。
- ・資源化可能な紙ごみの混入を削減する。

(イ) 対策を見込んだ場合の平成 32 年度推計値

- ・推計にあたっては、府内市町村における生活系ごみ質調査結果及び事業系ごみ質調査結果を用い、見込んだ対策がそれぞれ混入割合の平均値で 15%、30%、45%及び 60%削減されるとして推計した。

$$\begin{aligned} \text{排出量} &= (\text{単純推計排出量}) - (\text{手つかず食品削減量}) \\ &\quad - (\text{事業系プラスチック削減量}) - (\text{事業系紙ごみ削減量}) \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{再生利用量} &= (\text{単純推計再生利用量}) + (\text{生活系紙ごみ分別増加量}) \\ &\quad + (\text{プラスチック製容器包装分別増加量}) \end{aligned}$$

〈府内市町村の生活系ごみ質調査結果における混入割合（重量比）〉

（単位：％）

	大阪市	堺市	高槻市	吹田市	平均
厨芥類	36.2	41.0	36.1	22.2	33.9
手つかず食品	5.8	4.3	4.5	-	4.9
紙ごみ	32.3	32.8	25.8	33.6	31.1
資源化可能な紙類	14.9	16.9	13.5	9.6	13.7
プラスチック製容器包装（分別収集実施）	7.1	5.9	-	-	6.5
（分別収集未実施）	-	-	15.5	11.3	13.4

〈府内市町村の事業系ごみ質調査結果における混入割合（重量比）〉

（単位：％）

	大阪市	高槻市	豊中市	吹田市	平均
プラスチック	14.8	14.3	14.3	21.4	16.2
資源化可能な紙類	26.1	23.4	13.5	12.8	19.0

（ウ）大阪府域の排出量等の将来推計値

区 分	現計画		H32 推計				
	現計画 目標(H27)	H26 実績 (速報)	単純将来	対策を見込んだ場合の推計値			
				15%削減	30%削減	45%削減	60%削減
排出量	282 万トン	318 万トン	286 万トン (▲16%)	278 万トン (▲18%)	271 万トン (▲20%)	264 万トン (▲22%)	257 万トン (▲25%)
生活系	183 万トン	189 万トン	173 万トン	172 万トン	170 万トン	169 万トン	168 万トン
事業系	99 万トン	129 万トン	113 万トン	107 万トン	101 万トン	95 万トン	89 万トン
1人1日当たり 生活系ごみ排出量 (集団回収量・資源 ごみ排出量を除く)	384g/日・ 人	451g/日・ 人	423g/日・ 人	403g/日・ 人	384g/日・ 人	365g/日・ 人	345g/日・ 人
再生利用量	62 万トン	44 万トン	39 万トン	44 万トン	49 万トン	54 万トン	59 万トン
再生利用率	22%	13.8%	13.6%	15.8%	18.0%	20.3%	22.8%
中間処理による 減量	184 万トン	235 万トン	212 万トン	202 万トン	192 万トン	181 万トン	171 万トン
最終処分量	35 万トン	39 万トン	34 万トン (▲28%)	32 万トン (▲31%)	31 万トン (▲35%)	29 万トン (▲38%)	27 万トン (▲42%)

（ ）内は、平成24年度に対する増減の割合である。

2 産業廃棄物

(1) 単純将来推計方法

- ・平成 32 年度における産業廃棄物の排出量は、平成 26 年度産業廃棄物処理実態調査から得られた業種別・種類別の排出原単位に、平成 32 年度における活動量指標値（推計値）を乗じて算出した。
- ・上水道業、下水道業の排出量は、各事業者における計画量とした。
- ・平成 32 年度における活動量指標値は、下表のとおり、その近年の推移を踏まえて設定した。
- ・産業廃棄物の処理方法や中間処理における残さ率等については、平成 26 年度と同一として再生利用量や最終処分量等を推計した。

〈将来予測に用いた活動量指標値〉

業 種	活動量指標
建設業	元請完成工事高
製造業	製造品出荷額等
鉱業、情報通信業、運輸・郵便業、卸・小売業、飲食・宿泊業、生活関連・娯楽業、教育・学習業、医療・福祉業、他に分類されないサービス業	従業者数 (ただし、病院については病床数)

(2) 対策等を見込んだ場合の将来推計（平成 32 年度）

(ア) 建設混合廃棄物の発生を抑制し、建設廃棄物の再生利用を促進

- ・工事現場における分別を徹底し、混合廃棄物の発生を抑制する。
- ・建設業から排出される廃棄物の総量に占める混合廃棄物の割合（建設混合廃棄物排出率）を、平成 30 年度を目標年度とした建設リサイクル推進計画（国土交通省）における混合廃棄物排出率の目標値（3.5%）として推計した。
- ・大阪府における建設混合廃棄物排出率（平成 26 年度実績（速報））は約 6.0%である。

〈建設混合廃棄物排出率を 3.5%とした際の再生利用量等の増減量〉

再生利用増加量	減量化増加量	最終処分減少量
1.6 万トン	0.2 万トン	▲1.8 万トン

(イ) 事業系一般廃棄物の混入削減量を加算

- ・府内市町村における事業系一般廃棄物の組成分析結果の事例で、産業廃棄物の混入率が約 16%見られている。
- ・プラスチック類の一般廃棄物への混入を削減することにより、15~60%が産業廃棄物として排出されることから、この排出量等を見込む。

〈事業系一般廃棄物の混入削減による排出量等の増加量〉

	15%を産業廃棄物として排出	30%を産業廃棄物として排出	45%を産業廃棄物として排出	60%を産業廃棄物として排出
排出増加量	2.8 万トン	5.5 万トン	8.2 万トン	11.0 万トン
再生利用増加量	1.9 万トン	3.8 万トン	5.7 万トン	7.6 万トン
中間処理による減量化増加量	0.7 万トン	1.4 万トン	2.1 万トン	2.8 万トン
最終処分増加量	0.2 万トン	0.3 万トン	0.5 万トン	0.6 万トン

(ウ) 大阪府域の排出量等の将来推計値

区 分	現計画		H32 推計				
	現計画 目標(H27)	H26 実績 (速報)	単純将来	建設混合廃棄物の発生抑制 ^{※1} 及び 事業系一般廃棄物への産業廃棄物の混入削減 ^{※2} の 対策を見込んだ場合の推計値			
				15% ^{※2}	30% ^{※2}	45% ^{※2}	60% ^{※2}
排出量	1,565 万トン	1,518 万トン	1,531 万トン (+0.9%)	1,534 万トン (+1.0%)	1,537 万トン (+1.2%)	1,539 万トン (+1.4%)	1,542 万トン (+1.6%)
再生利用量	551 万トン	482 万トン	491 万トン	494 万トン	496 万トン	498 万トン	500 万トン
再生利用率	35 %	31.8 %	32.1 % (+0.3%)	32.2 % (+0.4%)	32.3 % (+0.5%)	32.4 % (+0.6%)	32.4 % (+0.6%)
中間処理による減量化量	965 万トン	998 万トン	1,002 万トン	1,003 万トン	1,004 万トン	1,004 万トン	1,005 万トン
最終処分量	49 万トン	38.1 万トン	38.4 万トン (+0.8%)	36.8 万トン (▲3.5%)	36.9 万トン (▲3.1%)	37.1 万トン (▲2.7%)	37.2 万トン (▲2.3%)

() 内は平成 26 年度に対する増減の割合である。国の基本方針は直近で実態を把握している平成 24 年度を基準年度としているが、府では平成 26 年度に実態を把握しているため、平成 26 年度を基準年度としている。

※1：建設混合廃棄物発生抑制対策の見込みは、建設リサイクル推進計画（国土交通省）における平成 30 年度目標値に基づき推計した。

※2：事業系一般廃棄物に混入しているプラスチック類の 15%、30%、45%、60%が産業廃棄物として排出されるケースでそれぞれ推計した。（事業系一般廃棄物への混入削減対策による産業廃棄物の排出量等の増加）

《環境審議会関係》

1 大阪府環境審議会循環型社会推進計画部会委員名簿

(五十音順)

氏名	所属	備考
浅利美鈴	京都大学環境安全保健機構附属環境科学センター助教	
尾崎博明	大阪産業大学工学部都市創造工学科教授	
貫上佳則	大阪市立大学大学院工学研究科教授	
中浜多美江	NPO法人関西消費者連合会副理事長	
新澤秀則	兵庫県立大学経済学部応用経済学科教授	
福岡雅子	大阪工業大学工学部環境工学科准教授	部会長代理
藤田香	近畿大学総合社会学部教授	
水野稔	大阪大学名誉教授	部会長
合計	8名	

2 審議経過

開催日	審議内容
第 52 回環境審議会 平成 27 年 6 月 18 日	循環型社会推進計画について（諮問）
第 1 回循環型社会推進計画部会 平成 27 年 8 月 10 日	(1) 次期循環型社会推進計画の策定について (2) 府域における廃棄物の発生状況等について (3) 現行計画の目標達成状況等について
第 2 回循環型社会推進計画部会 平成 27 年 9 月 18 日	(1) 第 1 回部会の指摘事項等について (2) 今後の社会情勢の変化について (3) 次期計画で考慮すべき事項について
第 3 回循環型社会推進計画部会 平成 27 年 11 月 18 日	(1) 前回部会の補足事項等について (2) 前回検討の指標による排出・再生利用等の状況について (3) 施策の視点について（案）
第 4 回循環型社会推進計画部会 平成 27 年 12 月 25 日	(1) 前回部会の補足事項等について (2) 目標設定について（案） (3) 部会報告素案について
第 5 回循環型社会推進計画部会 平成 28 年 1 月 26 日	(1) 部会報告案について
第 53 回環境審議会	